

第3期我孫子市障害者プラン
市民アンケート結果報告書



我孫子市 健康福祉部 障害福祉支援課

令和2年12月

目次

第1章 調査の概要	1
1. 目的	2
2. 実施結果	2
3. 本報告書を読むにあたって	3
第2章 アンケートの結果	4
1. 基本的な事柄	5
(1) 回答者	5
(2) 性別及び年齢	6
(3) お住まいの地区	7
(4) 障害者手帳の取得状況	9
(5) 手帳本人の介護支援者	15
2. 現在の生活の仕方	16
(1) 現在の暮らし方	16
(2) 現在の平日の日中の過ごし方	19
3. 今後3年以内の生活の仕方	22
(1) 今後3年以内の暮らし方	22
(2) 今後3年以内の平日の日中の過ごし方	25
(3) 平日の日中の過ごし方を実現するために必要なこと	28
4. 福祉サービス等の利用状況	30
(1) 現在利用している障害福祉サービス等	30
(2) 短期入所（ショートステイ）の利用について	39
(3) 共同生活援助（グループホーム）の利用について	41
5. 我孫子市の障害者支援の取り組みについて	45
6. その他障害福祉についてのご意見	46

第1章

調査の概要

1. 目的

本アンケートは、障害者基本法に基づく障害者計画と障害者総合支援法に基づく障害福祉計画に基づく第1期我孫子市障害者プラン（平成27年度～平成29年度）、第2期我孫子市障害者プラン（平成30年度～令和2年度）に引き続く、第3期我孫子市障害者プラン（令和3年度～令和5年度）策定のため、障害のある方の生活実態やサービスの利用状況、サービス利用の意向など、計画策定に必要な基礎資料を得ることを目的としています。

2. 実施結果

（1）実施状況

- ① 対象者 : 我孫子市に登録されている障害に関する手帳をお持ちの方の中から1,000名を無作為に抽出。
- ② 抽出元 : 令和2年4月1日現在の我孫子市障害者台帳から抽出。
- ③ 抽出割合 : 1,000名を令和2年4月1日現在の障害に関する手帳をお持ちの方で、手帳の等級・程度、また身体障害者手帳をお持ちの方においては障害別の割合を勘案し、配布数を算出。

手帳の種別	所持者数	配布数	全体における割合
身体障害者手帳	3,486	334	33.4%
療育手帳	935	333	33.3%
精神障害者保健福祉手帳	1,067	333	33.3%
総数	5,488	1,000	100.0%

- ④ 回答者 : 原則として、封筒のあて名のご本人が回答。ご本人が回答（記入）できない場合は、ご家族や支援者の方などがご本人と相談したり、ご本人の立場に立って回答。

（2）調査期間：令和2年6月29日～7月10日

（3）回収数・回収率： 対象者数（A）：1,000人
有効回収数（B）：482票
有効回収率（C）：48.2% ※ $C=B/A \times 100$
※返送戻り分 市民アンケート 20通（7月14日現在）

3. 本報告書を読むにあたって

○回答率（％）について

回答率（％）は小数点以下第2位を四捨五入していますが、端数処理の関係で、合計が100％にならない箇所があります。

○図表の選択肢について

本報告書における図表の掲載に当たっては、表示の都合上、調査票の選択肢の文言を一部簡略化している場合があります。

例：身体障害者手帳→身障手帳 精神障害者保健福祉手帳→精神手帳 など

○単純集計及び分析について

すべての質問について単純集計を行い、その特徴等を記述しています。有効回答数における集計と、手帳の種類ごとにおける集計では数値が異なります。これは、障害に関する手帳を複数所持している回答者が含まれることによるものです。

○クロス集計及び分析について

本報告書では、特徴的なものについては、男女別、年齢層別、身体障害者手帳の程度別、主な障害の種類別等のクロス集計グラフまたはクロス集計表を掲載し、分析を行っています。

クロス集計表の掲載にあたっては、分析の柱である男女別、年齢層別、身体障害者手帳の程度別、主な障害の種類別等について、「無回答」等の掲載を省略している場合があります。

○自由記載の意見の表現方法について

個人等が特定できる意見、同様の意見が多数ある場合は簡略化もしくは抜粋し、また内容に不明確な箇所があるなど省略している場合があります。

○グラフ中の表記について

グラフ中の選択肢の表記については、簡略化もしくは選択番号での表記としている場合があります。

○グラフ中における調査結果の比較について

第2期我孫子市障害者プラン策定のために実施したアンケート調査の結果と第3期我孫子市障害者プラン策定のために実施したアンケート調査の結果を、グラフ中において比較している場合があります。

第2章

アンケートの結果

1. 基本的な事柄

封筒のあて名のご本人について、基本的な事柄をうかがいます。

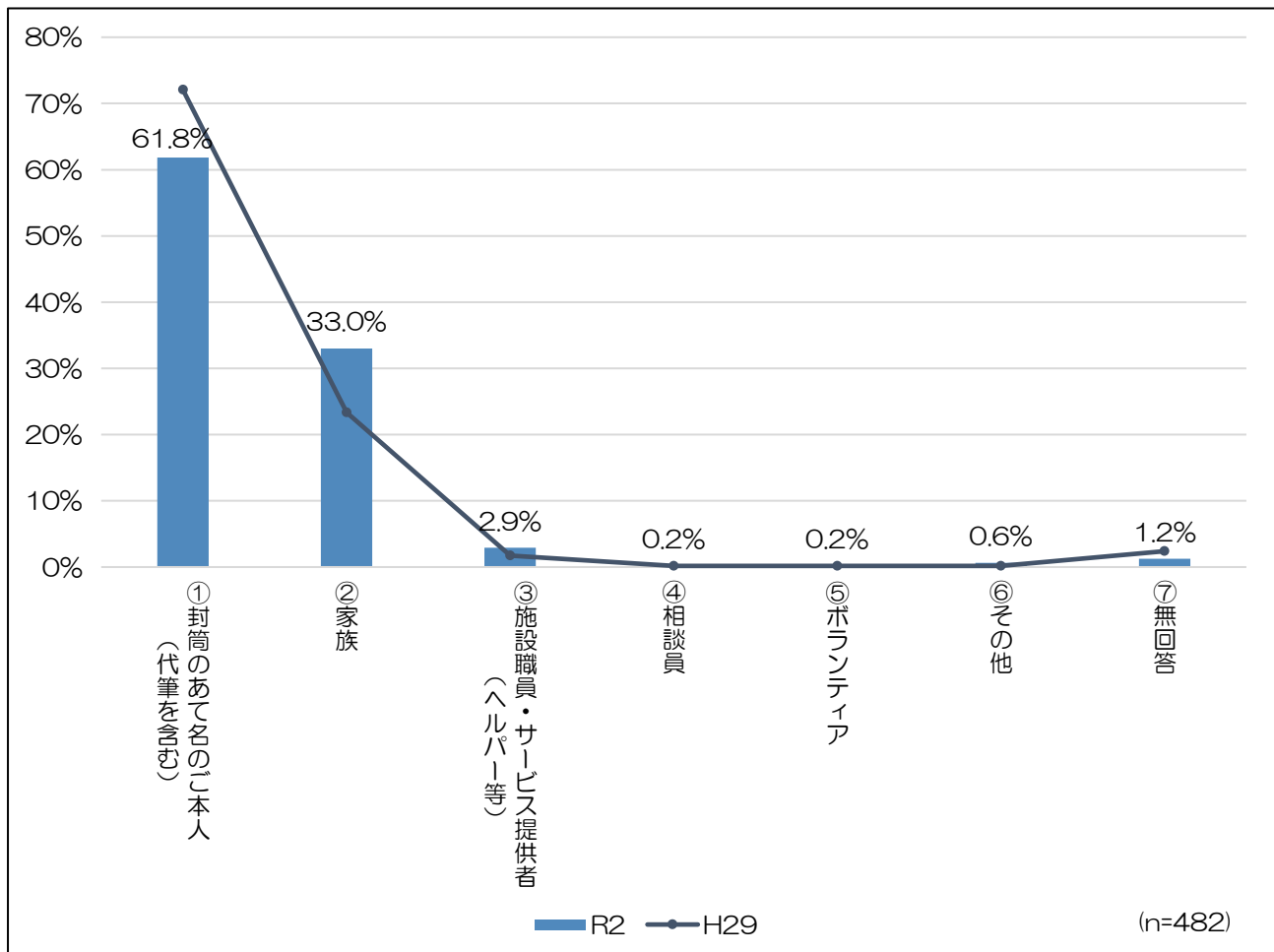
(1) 回答者

問1 この調査に記入していただく方はどなたですか。（あてはまるもの1つに○）

「①封筒のあて名のご本人（代筆を含む）」が最も多く、次いで「②家族」でした。

（単位：人）

①	封筒のあて名のご本人（代筆を含む）	298	61.8%
②	家族	159	33.0%
③	施設職員、サービス提供者（ヘルパー等）	14	2.9%
④	相談員	1	0.2%
⑤	ボランティア	1	0.2%
⑥	その他	3	0.6%
⑦	無回答	6	1.2%
アンケート回収数		482	100.0%



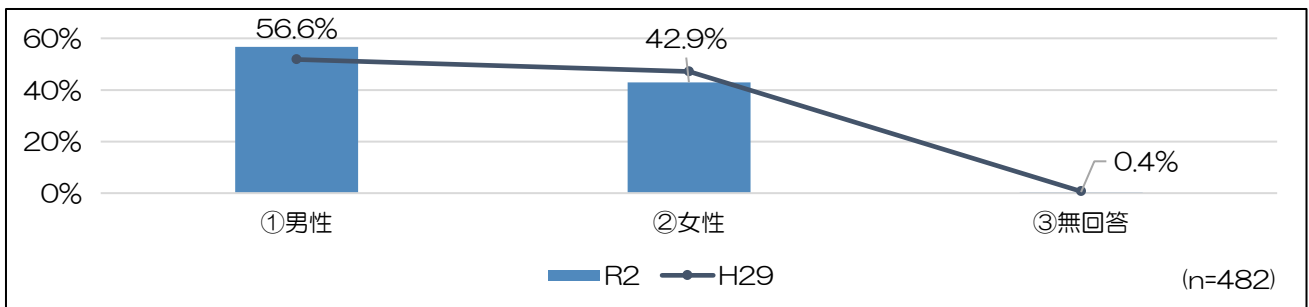
(2) 性別及び年齢

問2 あて名ご本人の性別と年齢を教えてください。(令和2年4月1日現在)

「①男性」が多く、次いで「②女性」でした。

(単位：人)

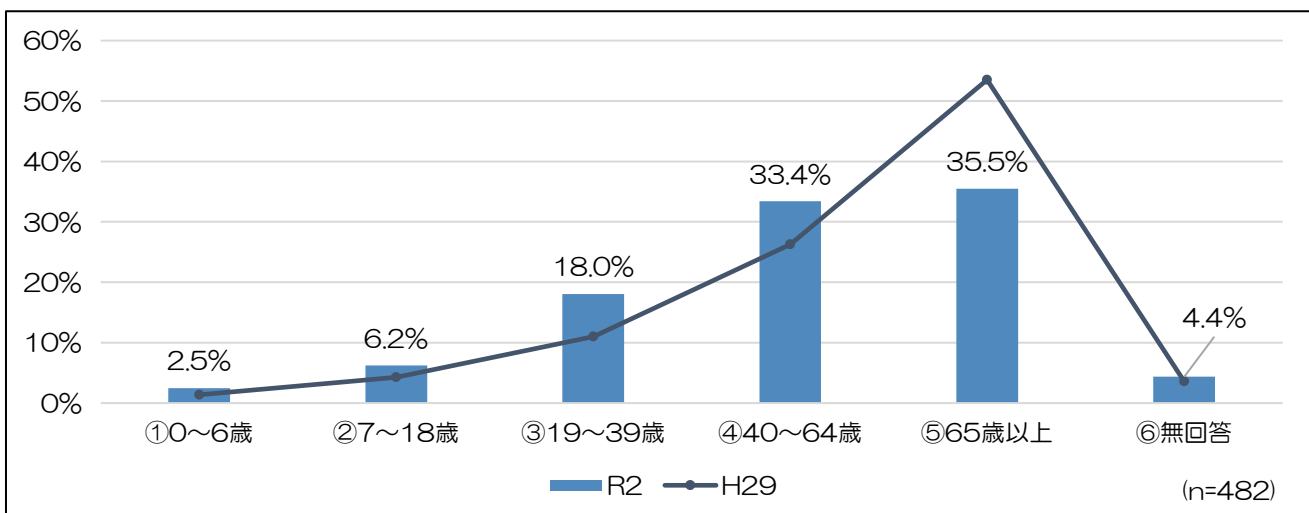
①	男性	273	56.6%
②	女性	207	42.9%
③	無回答	2	0.4%
アンケート回収数		482	100.0%



年齢層別にみると「⑤65歳以上」が最も多く、次いで「④40歳～64歳」となっており、全体の約70%を占めていました。回答は2歳～95歳の方からあり、あて名ご本人の平均年齢は53.3歳で、男女別では男性53.3歳、女性53.1歳でした。

(単位：人)

①	0～6歳	12	2.5%
②	7～18歳	30	6.2%
③	19～39歳	87	18.0%
④	40～64歳	161	33.4%
⑤	65歳以上	171	35.5%
⑥	無回答	21	4.4%
アンケート回収数		482	100.0%



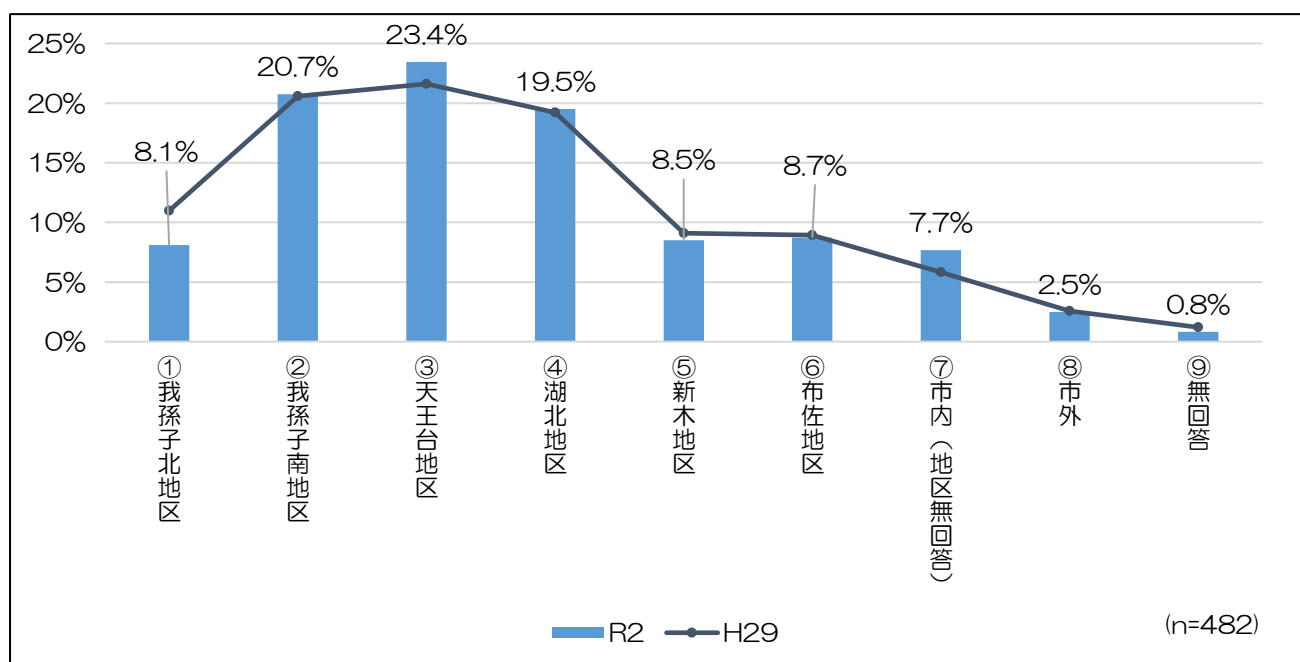
(3) お住まいの地区

問3 あて名ご本人の主な住まいはどちらですか。市内にお住まいの方は、字名までご記入ください。(令和2年4月1日現在)

「③天王台地区」が最も多く、次いで「②我孫子南地区」、「④湖北地区」でした。

(単位：人)

①	我孫子北地区	39	8.1%
②	我孫子南地区	100	20.7%
③	天王台地区	113	23.4%
④	湖北地区	94	19.5%
⑤	新木地区	41	8.5%
⑥	布佐地区	42	8.7%
⑦	市内(地区無回答)	37	7.7%
⑧	市外	12	2.5%
⑨	無回答	4	0.8%
アンケート回収数		482	100.0%



【我孫子北地区】布施、久寺家、根戸、つくし野

【我孫子南地区】根戸新田、台田、我孫子、並木、船戸、我孫子新田、白山、本町、緑寿、栄、若松

【天王台地区】泉、天王台、東我孫子、柴崎、柴崎台、北新田、日の出、青山台、青山、南青山、高野山、高野山新田、下ヶ戸、岡発戸、岡発戸新田

【湖北地区】都部、都部新田、湖北台、中峠台、中峠、中里、中里新田、古戸、日秀

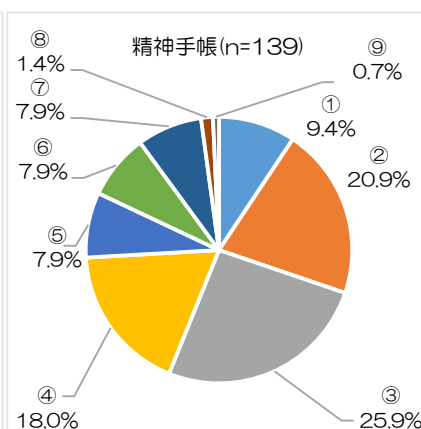
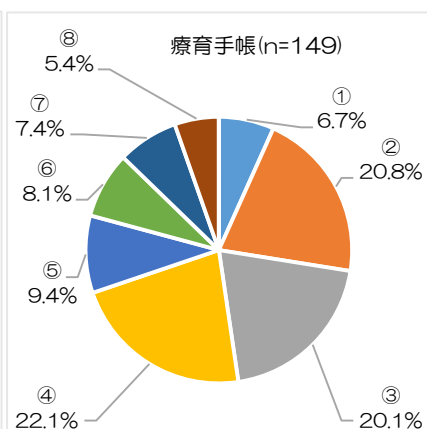
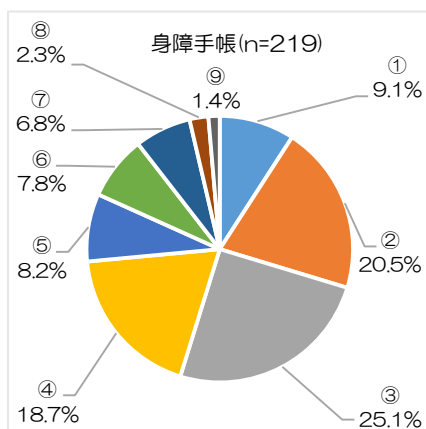
【新木地区】新木、新木野、南新木

【布佐地区】布佐西町、布佐1丁目、布佐、布佐平和台、江蔵地、都、新々田、三河屋新田、相島新田、大作新田、布佐下新田、浅間前新田

○手帳別

(単位：人)

		身障手帳	療育手帳	精神手帳	無回答
①	我孫子北地区	20	10	13	0
②	我孫子南地区	45	31	29	1
③	天王台地区	55	30	36	2
④	湖北地区	41	33	25	2
⑤	新木地区	18	14	11	2
⑥	布佐地区	17	12	11	3
⑦	市内（地区無回答）	15	11	11	2
⑧	市外	5	8	2	0
⑨	無回答	3	0	1	0
合計		219	149	139	12



(4) 障害者手帳の取得状況

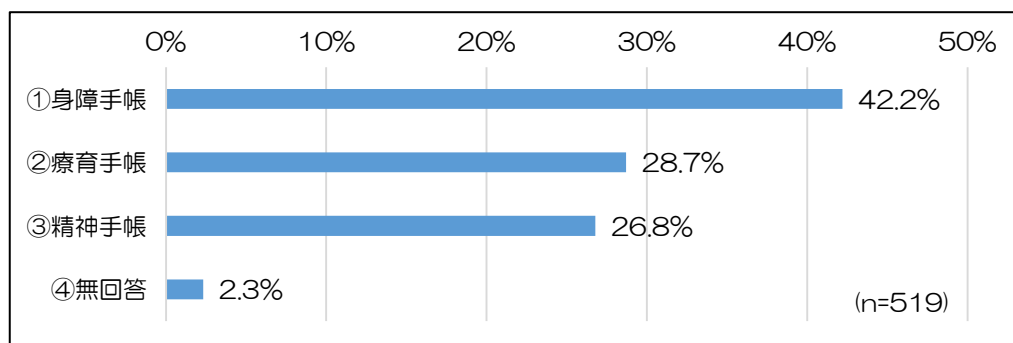
問4 あて名ご本人の障害の種別、程度、障害支援区分（認定されている方のみ）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

【手帳の種類別の取得状況】

回答者の障害に関する手帳の種類別の取得状況は、「①身体障害者手帳」が最も多く、次いで「②療育手帳」、「③精神障害者保健福祉手帳」でした。

(単位：人)

①	身体障害者手帳	219	42.2%
②	療育手帳	149	28.7%
③	精神障害者保健福祉手帳	139	26.8%
④	無回答	12	2.3%
合計		519	100.0%

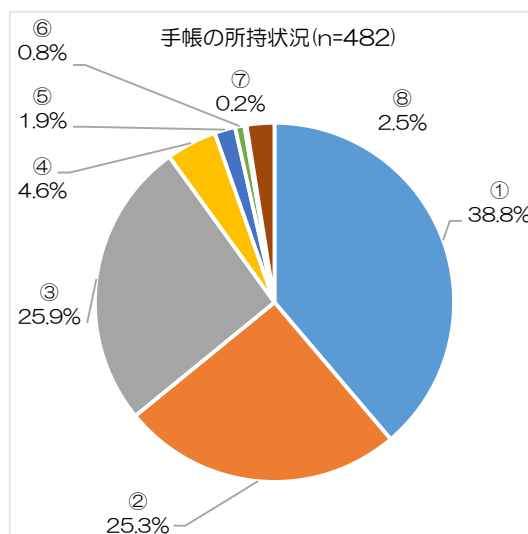


【手帳を所持している方の状況】

回答者の障害に関する手帳の取得状況では、各手帳を単独で所持している方に次いで、「④身体障害者手帳と療育手帳」が最も多く、次いで「⑤身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳」でした。

(単位：人)

①	身障手帳	187	38.8%
②	療育手帳	122	25.3%
③	精神手帳	125	25.9%
④	身障手帳＋療育手帳	22	4.6%
⑤	身障手帳＋精神手帳	9	1.9%
⑥	療育手帳＋精神手帳	4	0.8%
⑦	身障手帳＋療育手帳＋精神手帳	1	0.2%
⑧	無回答	12	2.5%
合計		482	100.0%



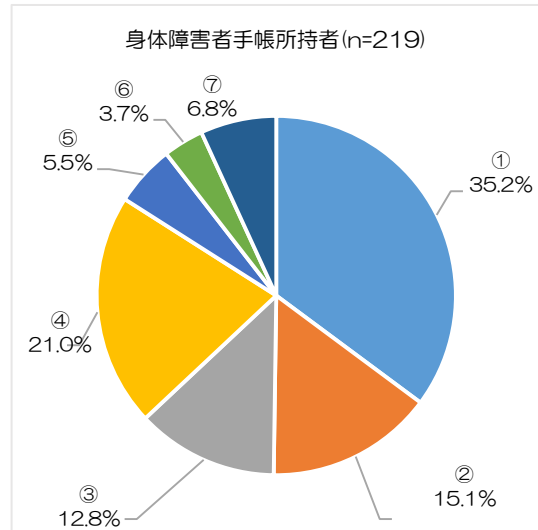
【手帳の種類別の状況】

①身体障害者手帳

身体障害者手帳「①1級」の所持者が77人（35.2%）と最も多く、次いで身体障害者手帳「④4級」の所持者が46人（21.0%）でした。

(単位：人)

①	1級	77	35.2%
②	2級	33	15.1%
③	3級	28	12.8%
④	4級	46	21.0%
⑤	5級	12	5.5%
⑥	6級	8	3.7%
⑦	無回答	15	6.8%
回答数（手帳所持者）		219	100.0%



○性別・年齢層別

身体障害者手帳の程度を年齢別にみると、「65歳以上」の「1級」の手帳所持者が48人と最も多く、次いで「65歳以上」の「4級」の手帳所持者が34人でした。

(単位：人)

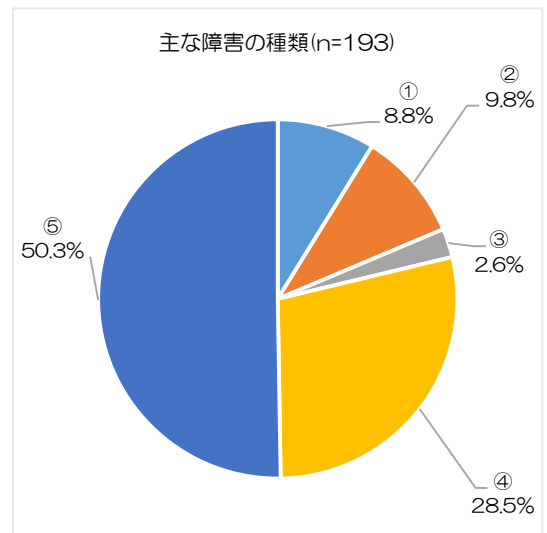
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	
全体		77	33	28	46	12	8	15	219
性別	男性	47	18	15	21	6	6	10	123
	女性	29	15	13	25	6	2	5	95
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
年齢層別	0歳～6歳	1	0	0	0	0	0	0	1
	7歳～18歳	4	1	0	0	0	0	0	5
	19歳～39歳	6	3	4	1	0	0	1	15
	40歳～64歳	16	8	3	11	2	2	3	45
	65歳以上	48	19	20	34	9	6	10	146
	無回答	2	2	1	0	1	0	1	7

○主な障害の種類

身体障害者手帳を所持している方に主な障害の種類をたずねたところ、「⑤内部障害」が97人(50.3%)と最も多く、次いで「④肢体不自由」が55人(28.5%)でした。

(単位：人)

①	視覚	17	8.8%
②	聴覚・平衡機能	19	9.8%
③	音声・言語・そしゃく機能	5	2.6%
④	肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能)	55	28.5%
⑤	内部障害(心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓・免疫機能)	97	50.3%
回答数(手帳所持者)		193	100.0%



○主な障害の種類における性別・年齢層別

身体障害を持っている方の主な障害の種類を年齢層別にみると、「65歳以上」の「内部障害」が67名で最も多く、次いで「65歳以上」の「肢体不自由」が36名でした。

(単位：人)

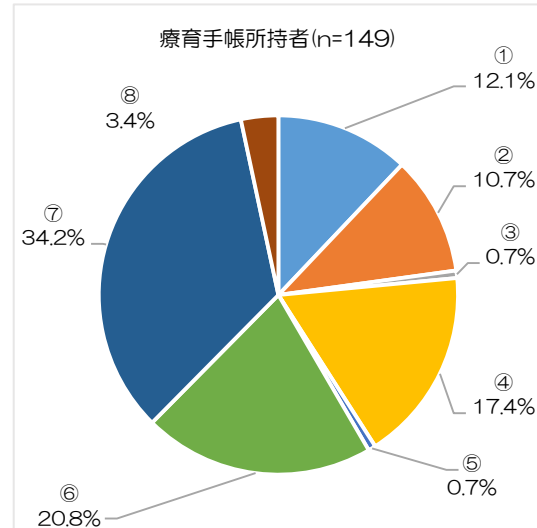
		①	②	③	④	⑤	合計
		視覚	聴覚 平衡	音声 言語	肢体 不自由	内部 障害	
全体		17	19	5	55	97	193
性別	男性	6	12	3	26	63	110
	女性	11	7	2	29	34	83
	無回答	0	0	0	0	0	0
年齢層別	0歳～6歳	0	0	0	1	0	1
	7歳～18歳	1	0	0	2	1	4
	19歳～39歳	0	2	0	1	5	8
	40歳～64歳	4	4	2	12	22	44
	65歳以上	12	12	3	36	67	130
	無回答	0	1	0	3	2	6

②療育手帳

療育手帳を所持していると回答された方のうち、療育手帳「⑦Bの2」の所持者が51人（34.2%）と最も多く、次いで療育手帳「⑥Bの1」の所持者が31人（20.8%）でした。

(単位：人)

①	Ⓐの1	18	12.1%
②	Ⓐの2	16	10.7%
③	Ⓐ	1	0.7%
④	Aの1	26	17.4%
⑤	Aの2	1	0.7%
⑥	Bの1	31	20.8%
⑦	Bの2	51	34.2%
⑧	無回答	5	3.4%
回答数（手帳所持者）		149	100.0%



○性別・年齢層別

療育手帳の程度を性別にみると、男性の手帳所持者は98人で、女性の手帳所持者50人の約2倍でした。また、年齢層別にみると、「19歳～39歳」の療育手帳「Bの2」の所持者が18人で最も多く、次いで「19歳～39歳」の療育手帳「Bの1」の所持者が13人でした。

(単位：人)

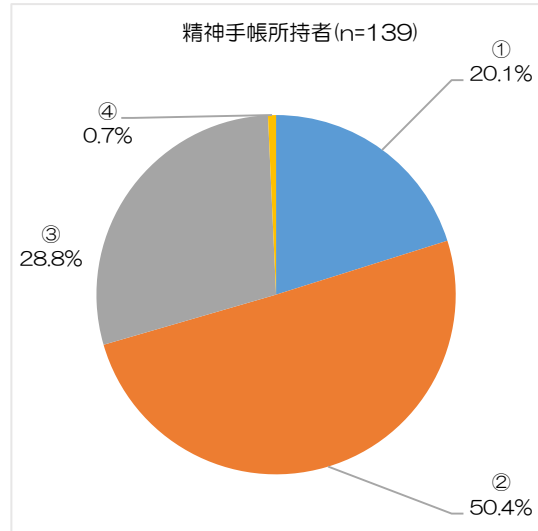
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
		Ⓐの1	Ⓐの2	Ⓐ	Aの1	Aの2	Bの1	Bの2	無回答	
全体		18	16	1	26	1	31	51	5	149
性別	男性	13	11	0	18	0	19	34	3	98
	女性	5	4	1	8	1	12	17	2	50
	無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	1
年齢層別	0歳～6歳	1	0	0	1	0	3	7	0	12
	7歳～18歳	6	1	1	6	0	4	11	0	29
	19歳～39歳	3	6	0	10	1	13	18	1	52
	40歳～64歳	4	9	0	7	0	9	12	2	43
	65歳以上	4	0	0	1	0	1	0	0	6
	無回答	0	0	0	1	0	1	3	2	7

③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を所持していると回答された方のうち、精神障害者保健福祉手帳「②2級」の所持者が70人（50.4%）と最も多く、次いで精神障害者保健福祉手帳「③3級」の所持者が40人（28.8%）でした。

(単位：人)

①	1級	28	20.1%
②	2級	70	50.4%
③	3級	40	28.8%
④	無回答	1	0.7%
回答数（手帳所持者）		139	100.0%



○性別・年齢層別

精神障害者保健福祉手帳の程度を年齢層別にみると、「40歳～64歳」の精神障害者保健福祉手帳「2級」の所持者が43人で最も多く、次いで「40歳～64歳」の精神障害者保健福祉手帳「3級」の所持者が22人でした。

(単位：人)

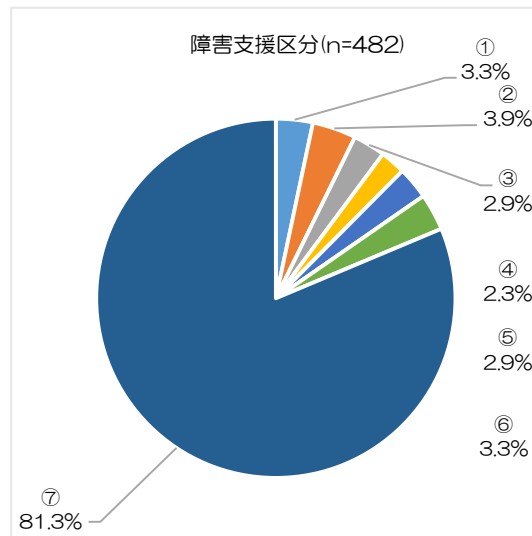
		①	②	③	④	合計
		1級	2級	3級	無回答	
全体		28	70	40	1	139
性別	男性	17	34	20	1	72
	女性	11	35	20	0	66
	無回答	0	1	0	0	1
年齢層別	0歳～6歳	0	0	0	0	0
	7歳～18歳	0	0	1	0	1
	19歳～39歳	4	18	11	0	33
	40歳～64歳	17	43	22	1	83
	65歳以上	6	6	3	0	15
	無回答	1	3	3	0	7

【障害支援区分】

「②障害支援区分2」の方が19人（3.9%）と最も多く、次いで「①障害支援区分1」と「⑥障害支援区分6」の方が16人（3.3%）でした。

(単位：人)

①	障害支援区分1	16	3.3%
②	障害支援区分2	19	3.9%
③	障害支援区分3	14	2.9%
④	障害支援区分4	11	2.3%
⑤	障害支援区分5	14	2.9%
⑥	障害支援区分6	16	3.3%
⑦	無回答	392	81.3%
アンケート回収数		482	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

障害支援区分を手帳別にみると、「身体障害者手帳」で「障害支援区分1」の方が14人と最も多く、次いで「療育手帳」で「障害支援区分6」の方が13人でした。

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		障害支援区分1	障害支援区分2	障害支援区分3	障害支援区分4	障害支援区分5	障害支援区分6	無回答	
全体		16	19	14	11	14	16	392	482
性別	男性	9	12	8	5	10	12	217	273
	女性	7	7	6	6	4	4	173	207
	無回答	0	0	0	0	0	0	2	2
年齢層別	0歳～6歳	1	0	0	0	0	0	11	12
	7歳～18歳	0	0	0	0	0	0	30	30
	19歳～39歳	0	4	5	5	6	7	60	87
	40歳～64歳	4	7	5	4	5	8	128	161
	65歳以上	10	8	4	2	3	1	143	171
	無回答	1	0	0	0	0	0	20	21
手帳別	身障手帳	14	11	5	5	2	6	176	219
	療育手帳	2	5	6	6	12	13	105	149
	精神手帳	2	3	5	1	1	1	126	139
	無回答	0	1	0	0	1	1	9	12

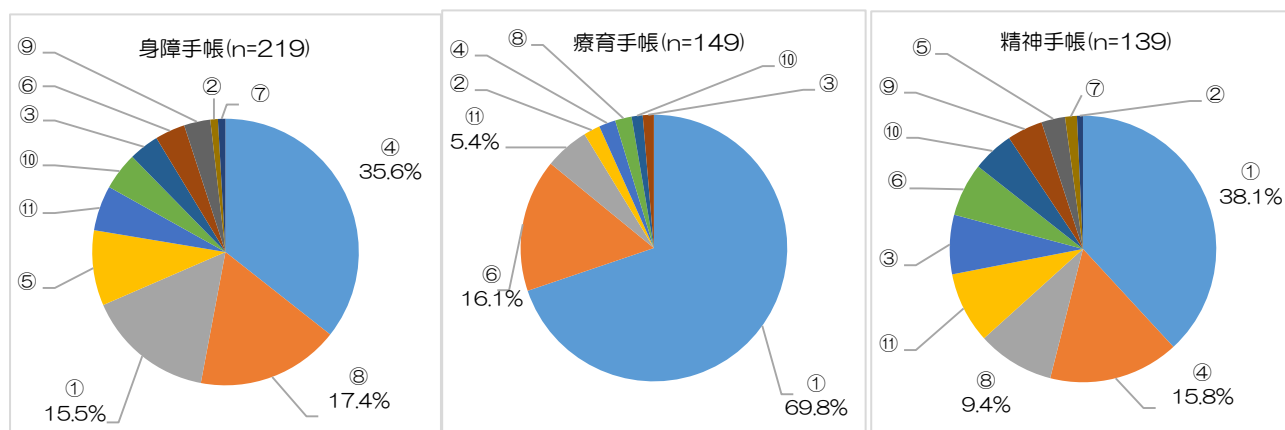
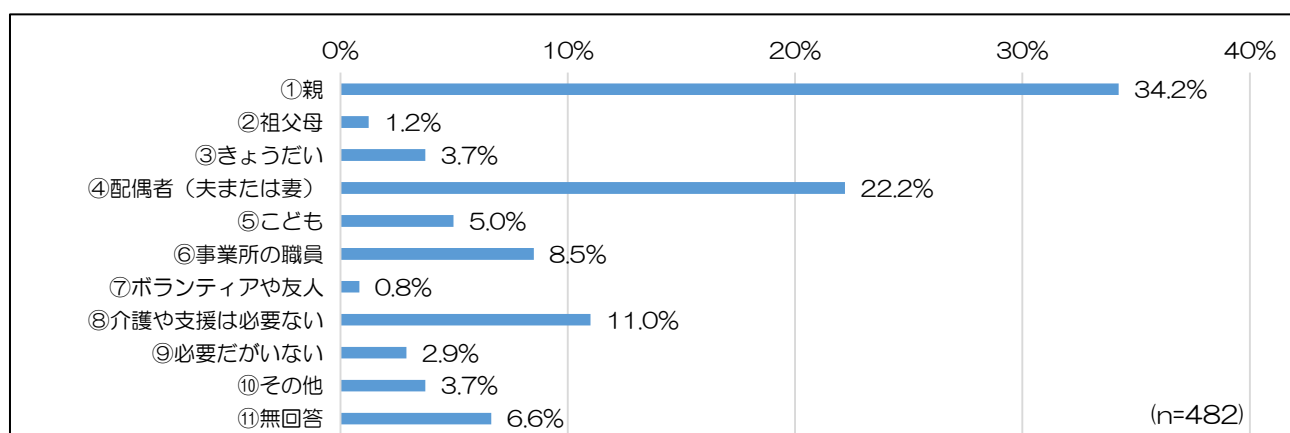
(5) 手帳本人の介護支援者

問5 あて名ご本人の介護や支援をしている人はどなた（年齢）ですか。（主なもの1つに○）

「①親」が165人（34.2%）と最も多く、次いで「④配偶者（夫または妻）」が107人（22.2%）でした。

（単位：人）

①	親	165	34.2%
②	祖父母	6	1.2%
③	きょうだい	18	3.7%
④	配偶者（夫または妻）	107	22.2%
⑤	こども	24	5.0%
⑥	事業所の職員	41	8.5%
⑦	ボランティアや友人	4	0.8%
⑧	介護や支援は必要ない	53	11.0%
⑨	必要だがいない	14	2.9%
⑩	その他	18	3.7%
⑪	無回答	32	6.6%
アンケート回収数		482	100.0%



※円グラフの各項目（①～⑪）は、回答数の多い順に並んでいます。

2. 現在の生活の仕方

あて名ご本人の現在の生活状況についてうかがいます。

(1) 現在の暮らし方

問6 あて名ご本人は、現在どのように暮らしていますか。(主なもの1つに〇)

「②自宅で家族と暮らしている」が最も多く、次いで「①自宅でひとり暮らし」、「③障害者向けのグループホーム・生活ホーム」でした。

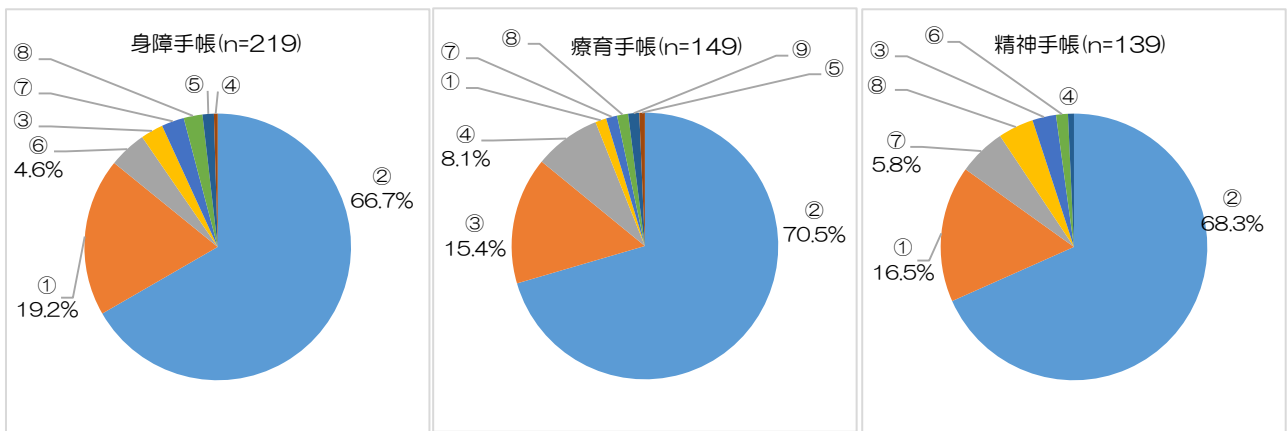
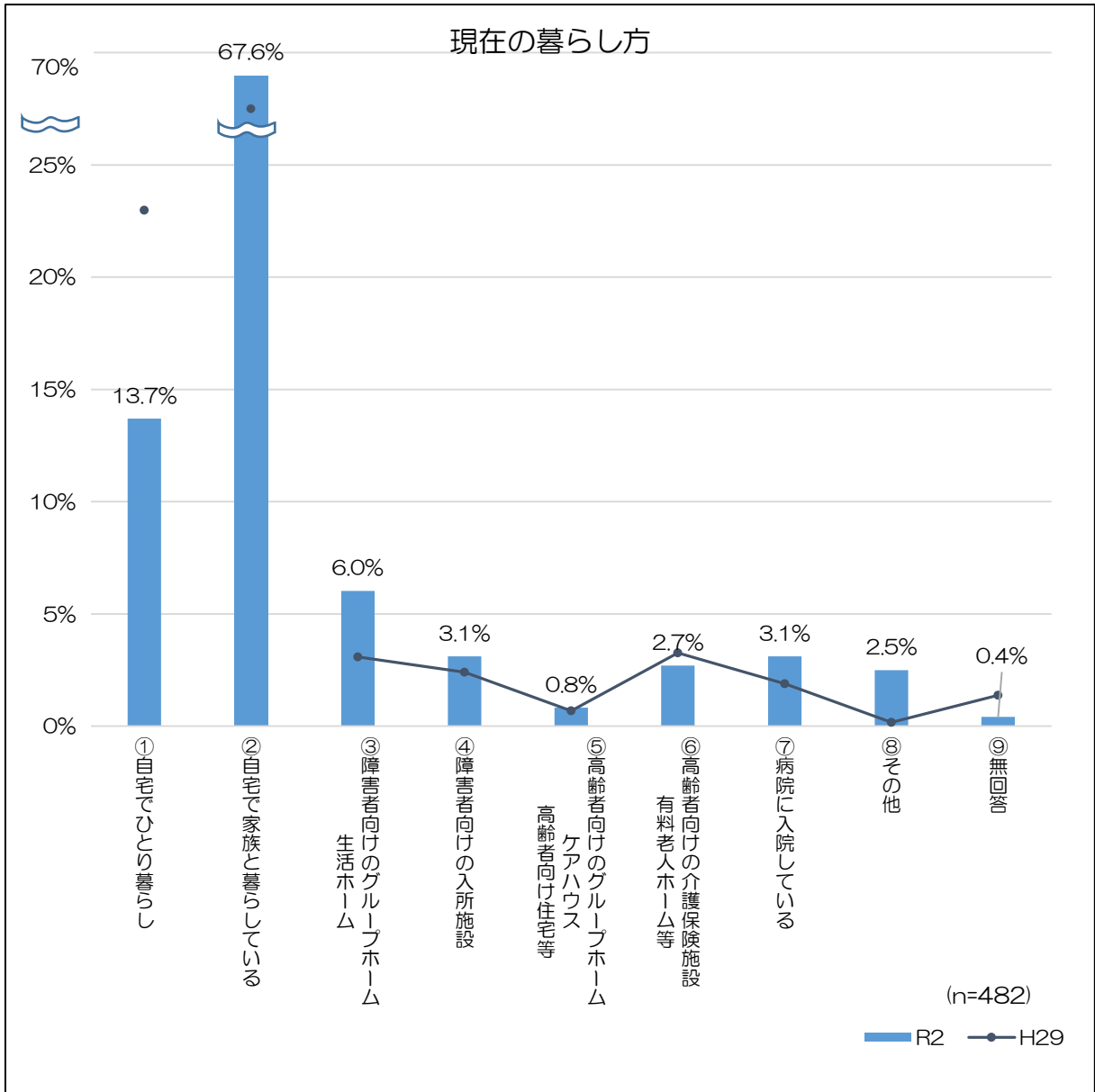
(単位：人)

①	自宅でひとり暮らし	66	13.7%
②	自宅で家族と暮らしている	326	67.6%
③	障害者向けのグループホーム・生活ホーム	29	6.0%
④	障害者向けの入所施設	15	3.1%
⑤	高齢者向けのグループホーム・ケアハウス・高齢者向け住宅等	4	0.8%
⑥	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等	13	2.7%
⑦	病院に入院している	15	3.1%
⑧	その他	12	2.5%
⑨	無回答	2	0.4%
アンケート回収数		482	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
		自分でひとりで暮らしている	自宅で家族と暮らしている	障害者向けのグループホーム 生活ホーム	障害者向けの入所施設	高齢者向けのグループホーム ケアハウス・高齢者向け住宅等	高齢者向けの介護保険施設 有料老人ホーム等	病院に入院している	その他	無回答	合計
性別	男性	30	190	15	12	1	9	9	7	0	273
	女性	36	134	14	3	3	4	6	5	2	207
	無回答	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
年齢層別	0～6歳	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12
	7～18歳	0	29	1	0	0	0	0	0	0	30
	19～39歳	2	68	8	3	0	0	2	3	1	87
	40～64歳	30	92	15	9	1	2	6	5	1	161
	65歳以上	34	107	2	3	3	11	7	4	0	171
	無回答	0	18	3	0	0	0	0	0	0	21
手帳別	身障手帳	42	146	6	1	3	10	6	5	0	219
	療育手帳	2	105	23	12	1	0	2	2	2	149
	精神手帳	23	95	4	1	0	2	8	6	0	139
	無回答	3	6	1	1	0	1	0	0	0	12



※円グラフの各項目（①～⑨）は、回答数の多い順に並んでいます。

(2) 現在の平日の日中の過ごし方

問7 あて名ご本人は、平日の日中どのように過ごしていますか。(主なもの1つに〇)

「⑪自宅で過ごしている(専業主婦(主夫)を含む)」が最も多く、次いで「②企業等で働いている(自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)」でした。

(単位：人)

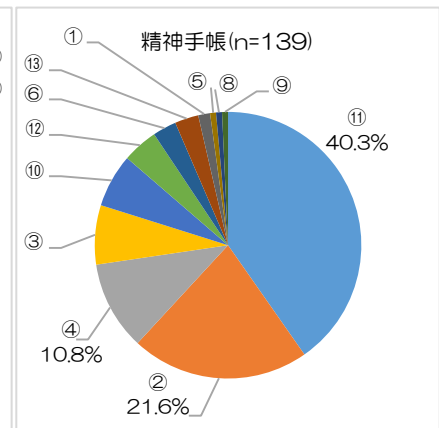
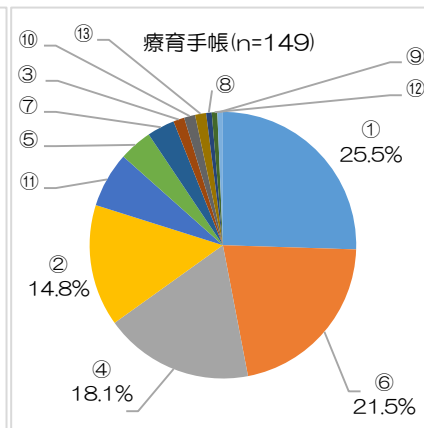
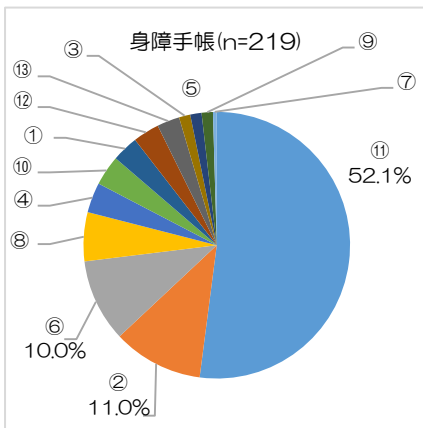
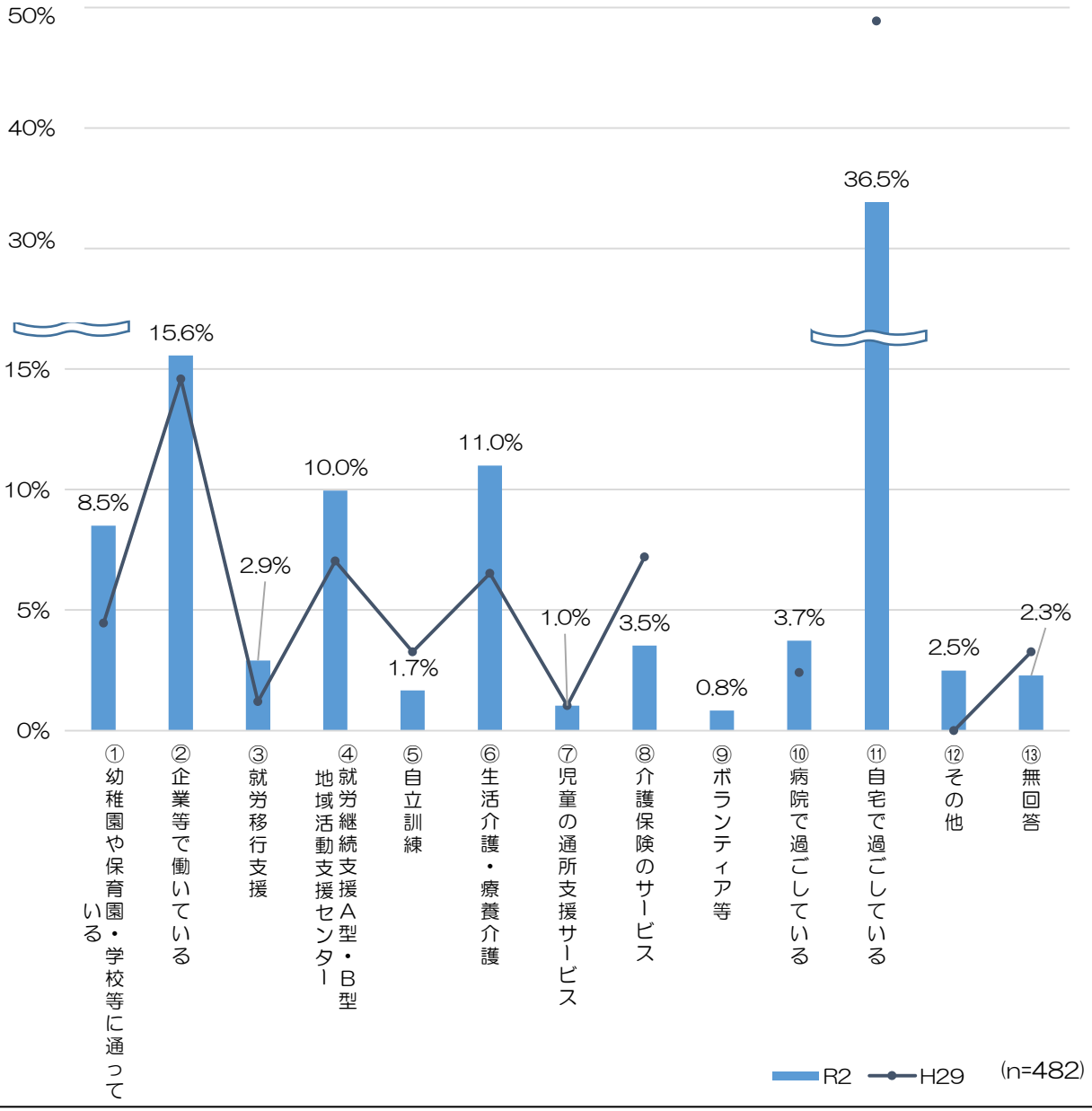
①	幼稚園や保育園・学校等に通っている	41	8.5%
②	企業等で働いている (自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	75	15.6%
③	就労をめざして訓練している(就労移行支援)	14	2.9%
④	就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型・地域活動支援センター等で働いている	48	10.0%
⑤	身体機能や日常生活の訓練が中心の施設で訓練している(自立訓練)	8	1.7%
⑥	生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしている	53	11.0%
⑦	児童の通所支援サービスを利用している	5	1.0%
⑧	介護保険のサービスを利用している	17	3.5%
⑨	ボランティア等、収入を得ない活動をしている	4	0.8%
⑩	病院で過ごしている(入院中、リハビリ、デイケアを含む)	18	3.7%
⑪	自宅で過ごしている(専業主婦(主夫)を含む)	176	36.5%
⑫	その他	12	2.5%
⑬	無回答	11	2.3%
アンケート回収数		482	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
		幼稚園や保育園・学校等に通っている	企業等で働いている	就労移行支援	就労継続支援△型・就労継続支援□型 地域活動支援センター等	自立訓練	生活介護・療養介護	児童の通所支援サービス	介護保険のサービス	ボランティア等	病院で過ごしている	自宅で過ごしている	その他	無回答	合計
性別	男性	29	52	4	28	7	32	3	10	2	12	82	6	6	273
	女性	12	23	10	20	1	20	2	7	2	6	93	6	5	207
	無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
年齢層別	0～6歳	8	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	12
	7～18歳	27	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	30
	19～39歳	1	26	3	22	5	12	0	0	0	3	11	2	2	87
	40～64歳	2	32	10	20	2	22	1	2	2	6	54	4	4	161
	65歳以上	1	13	0	3	1	17	0	13	1	9	103	5	5	171
	無回答	2	3	1	3	0	1	1	2	1	0	6	1	0	21
手帳別	身障手帳	7	24	3	8	3	22	1	13	3	8	114	7	6	219
	療育手帳	38	22	2	27	6	32	5	1	1	2	10	1	2	149
	精神手帳	2	30	10	15	1	4	0	1	1	9	56	6	4	139
	無回答	0	0	0	3	0	2	0	2	0	0	4	0	1	12

現在の平日の日中の過ごし方



※円グラフの各項目 (①~⑬) は、回答数の多い順に並んでいます。

3. 今後3年以内の生活の仕方

今後の暮らし方についてうかがいます。

(1) 今後3年以内の暮らし方

問8 あて名ご本人は、今後3年以内にどのように暮らしたいですか。(主なもの1つに○)

「①今の住まいで暮らしたい」が最も多く、次いで「③自宅で家族と一緒に暮らしたい」、「②自宅(持ち家・賃貸等)でひとり暮らしをしたい」、「④障害者向けのグループホームで暮らしたい」でした。

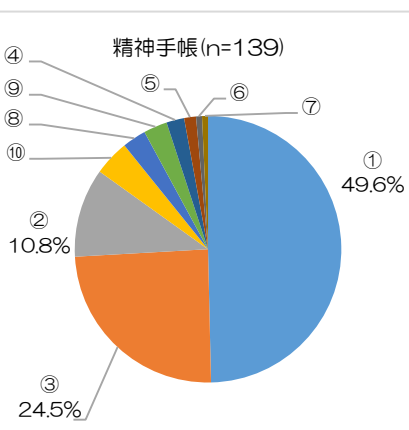
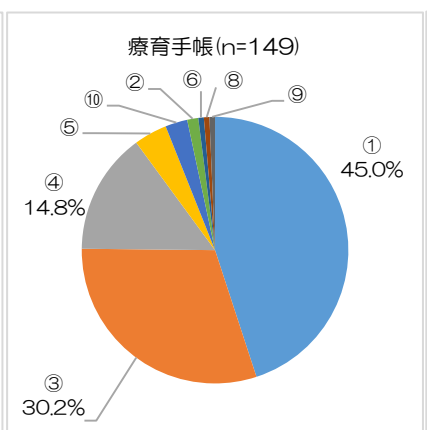
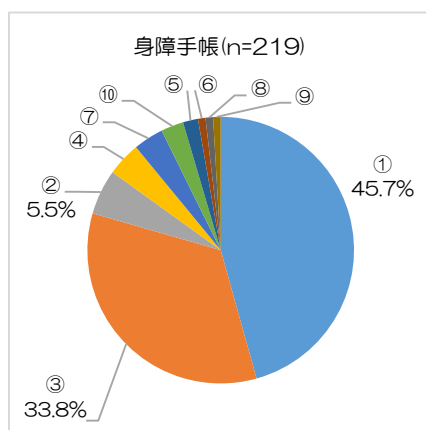
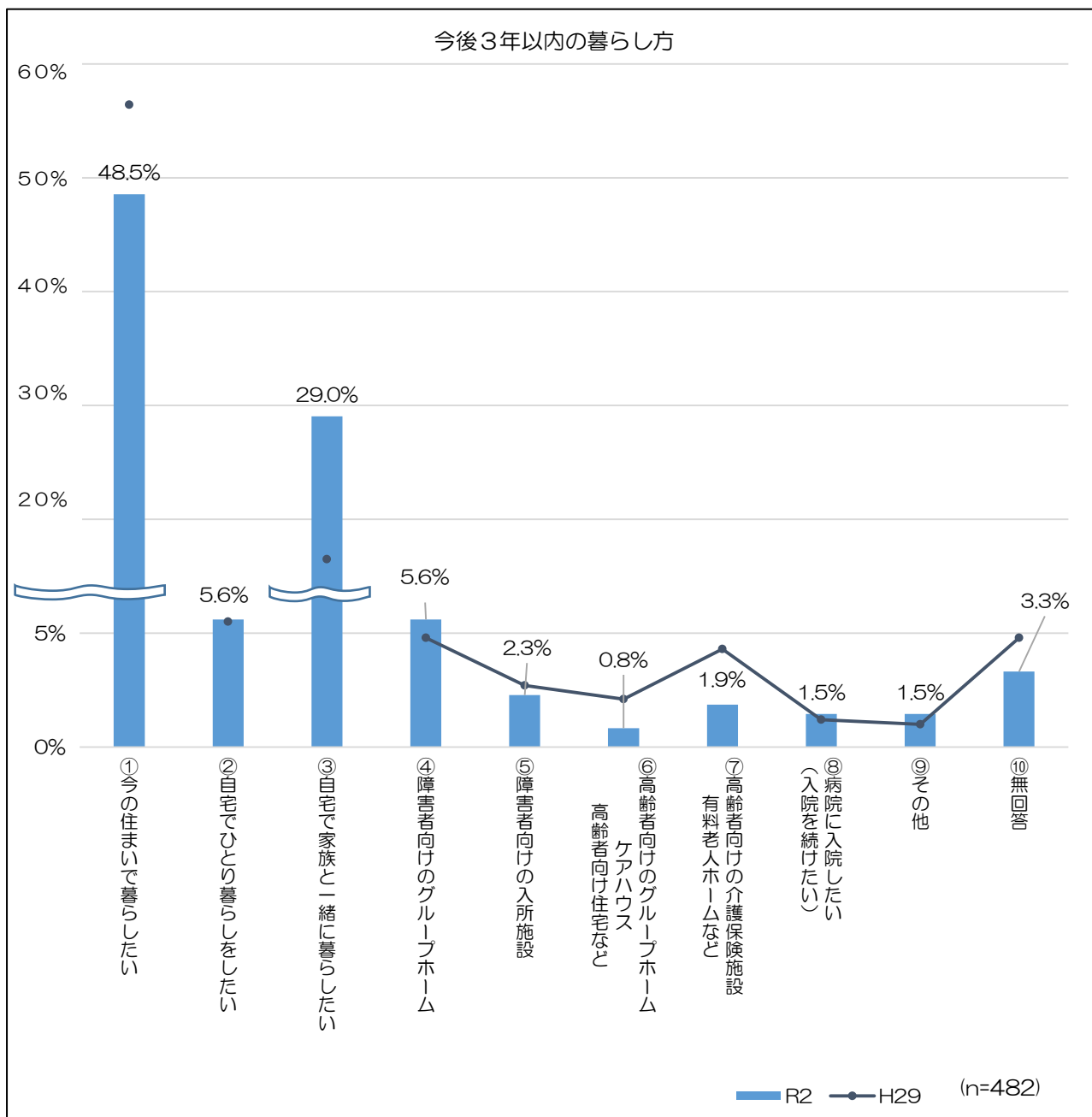
(単位：人)

①	今の住まいで暮らしたい	234	48.5%
②	自宅(持ち家・賃貸等)でひとり暮らしをしたい	27	5.6%
③	自宅で家族と一緒に暮らしたい	140	29.0%
④	障害者向けのグループホームで暮らしたい	27	5.6%
⑤	障害者向けの入所施設で暮らしたい	11	2.3%
⑥	高齢者向けのグループホーム・ケアハウス 高齢者向け住宅等で暮らしたい	4	0.8%
⑦	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等で暮らしたい	9	1.9%
⑧	病院に入院したい(入院を続けたい)	7	1.5%
⑨	その他	7	1.5%
⑩	無回答	16	3.3%
アンケート回収数		482	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
		今の住まいで暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	自宅で家族と一緒に暮らしたい	障害者向けのグループホームで暮らしたい	障害者向けの入所施設で暮らしたい	ケアハウス・高齢者向け住宅等で暮らしたい	高齢者向けのグループホーム 暮らしたい	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等で暮らしたい	病院に入りたい（入院を続けたい）	その他	無回答	合計
性別	男性	129	16	84	14	7	2	6	3	3	9	273	
	女性	104	11	55	13	4	2	3	4	4	7	207	
	無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
年齢層別	0～6歳	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	12	
	7～18歳	18	0	12	0	0	0	0	0	0	0	30	
	19～39歳	34	5	23	14	4	0	0	0	2	5	87	
	40～64歳	79	14	40	12	5	3	0	4	1	3	161	
	65歳以上	84	8	54	0	2	1	9	3	3	7	171	
	無回答	11	0	7	1	0	0	0	0	1	1	21	
手帳別	身障手帳	100	12	74	9	4	2	8	2	2	6	219	
	療育手帳	67	2	45	22	6	1	0	1	1	4	149	
	精神手帳	69	15	34	3	2	1	1	4	4	6	139	
	無回答	9	0	1	0	0	0	1	0	0	1	12	



※円グラフの各項目 (①~⑩) は、回答数の多い順に並んでいます。

(2) 今後3年以内の平日の日中の過ごし方

問9 あて名ご本人は、今後3年以内に平日の日中どのように過ごしたいですか。
(主なもの1つに○)

「①現在の過ごし方を続けたい」が最も多く、次いで「③企業等で働きたい(自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)」、「⑫自宅で過ごしたい(専業主婦(主夫)を含む)」でした。

(単位：人)

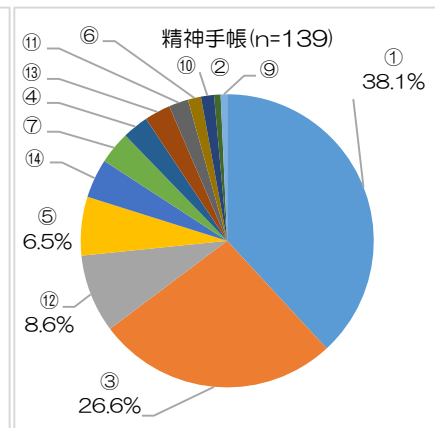
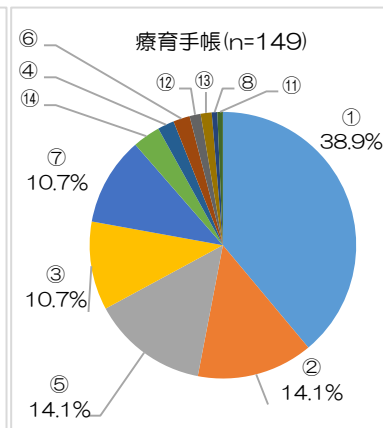
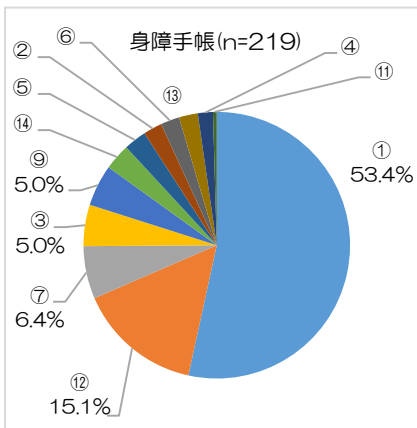
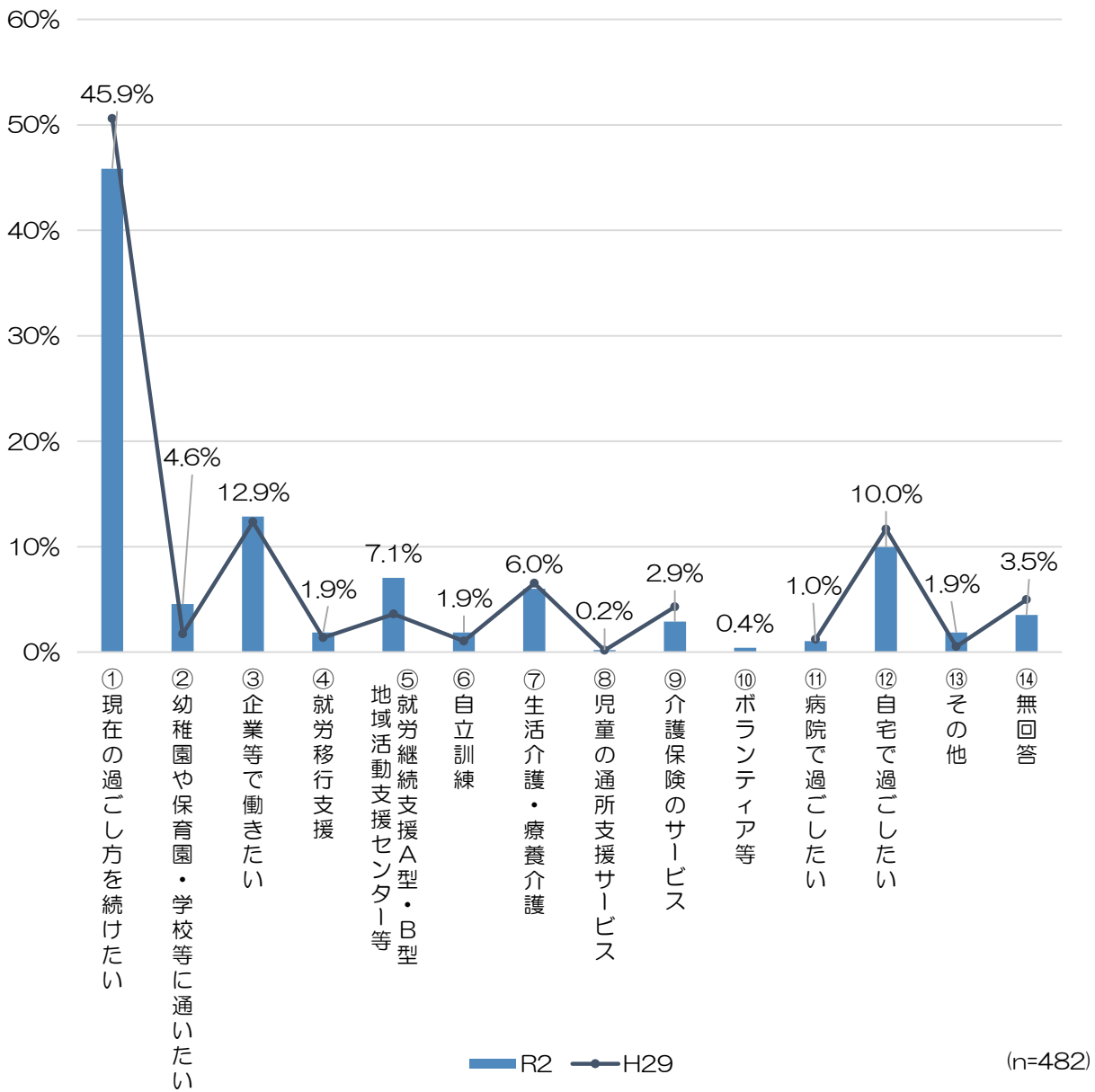
①	現在の過ごし方を続けたい	221	45.9%
②	幼稚園や保育園・学校等に通いたい	22	4.6%
③	企業等で働きたい (自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	62	12.9%
④	就労をめざして訓練したい(就労移行支援)	9	1.9%
⑤	就労継続支援A型・就労継続支援B型・地域活動支援センター等で働きたい	34	7.1%
⑥	身体機能や日常生活の訓練が中心の施設で訓練したい(自立訓練)	9	1.9%
⑦	生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしたい	29	6.0%
⑧	児童の通所支援サービスを利用したい	1	0.2%
⑨	介護保険のサービスを利用したい	14	2.9%
⑩	ボランティア等、収入を得ない活動をしたい	2	0.4%
⑪	病院で過ごしたい(入院中・リハビリ・デイケアを含む)	5	1.0%
⑫	自宅で過ごしたい(専業主婦(主夫)を含む)	48	10.0%
⑬	その他	9	1.9%
⑭	無回答	17	3.5%
アンケート回収数		482	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
		現在の過ごし方を続けたい	幼稚園や保育園・学校等に通いたい	企業等で働きたい	就労移行支援	就労継続支援△型・就労継続支援□型 地域活動支援センター等	自立訓練	生活介護・療養介護	児童の通所支援サービス	介護保険のサービス	ボランティア等	病院で過ごしたい	自宅で過ごしたい	その他	無回答	合計
性別	男性	121	16	40	6	19	6	20	1	5	1	2	24	3	9	273
	女性	99	6	22	3	15	3	8	0	9	1	3	24	6	8	207
	無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
年齢層別	0～6歳	3	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12
	7～18歳	7	13	3	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	2	30
	19～39歳	33	0	19	2	13	4	9	0	0	0	0	2	1	4	87
	40～64歳	68	0	35	7	13	1	9	0	2	2	3	12	5	4	161
	65歳以上	100	0	2	0	2	4	9	0	11	0	2	32	2	7	171
	無回答	10	1	3	0	2	0	1	0	1	0	0	2	1	0	21
手帳別	身障手帳	117	5	11	4	6	5	14	0	11	0	1	33	5	7	219
	療育手帳	58	21	16	3	21	3	16	1	0	0	1	2	2	5	149
	精神手帳	53	1	37	4	9	2	5	0	1	2	3	12	4	6	139
	無回答	3	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	2	0	1	12

今後3年以内の平日の日中の過ごし方



※円グラフの各項目(①~⑭)は、回答数の多い順に並んでいます。

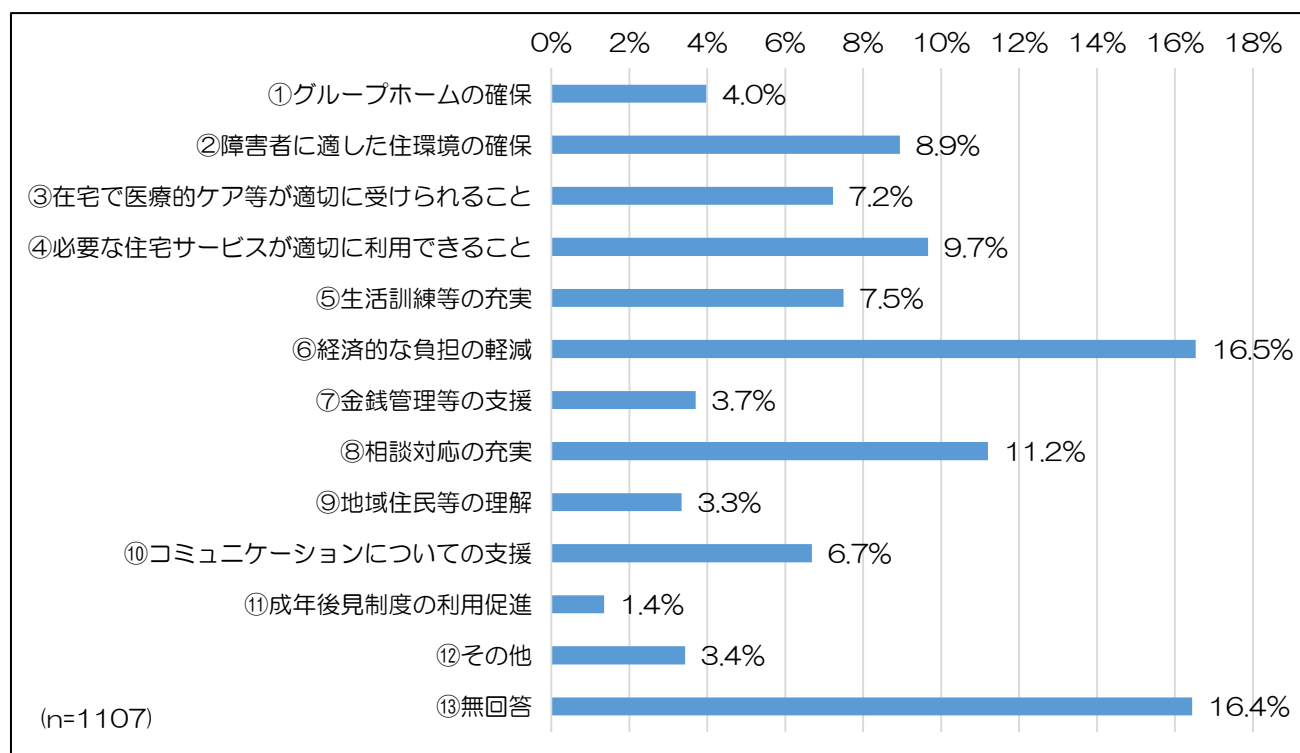
(3) 平日の日中の過ごし方を実現するために必要なこと

問10 問9の過ごし方を実現するためにはどのようなことが必要だと感じますか。
(主なもの3つに〇)

「⑥経済的な負担の軽減」が最も多く、次いで「⑧相談対応の充実」、「④必要な住宅サービスが適切に利用できること」でした。

(単位：人)

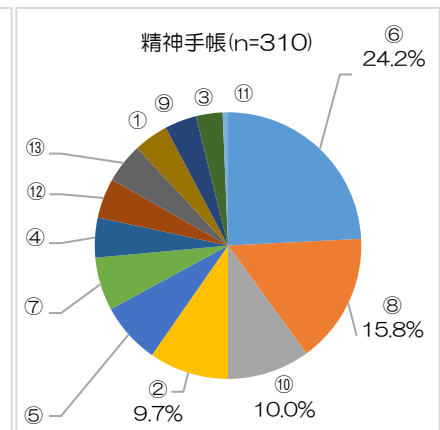
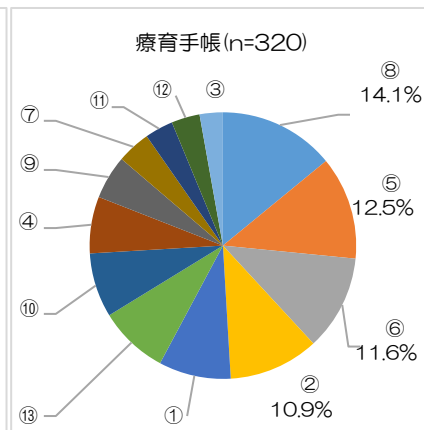
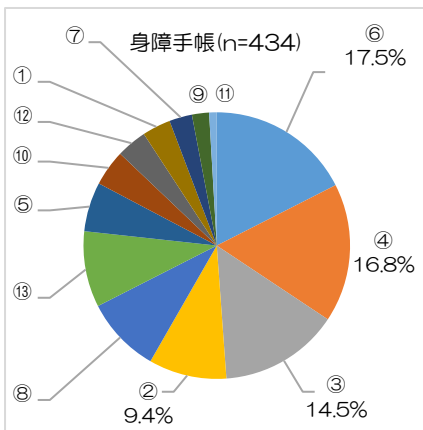
①	グループホームの確保	44	4.0%
②	障害者に適した住環境の確保	99	8.9%
③	在宅で医療的ケア等が適切に受けられること	80	7.2%
④	必要な住宅サービスが適切に利用できること	107	9.7%
⑤	生活訓練等の充実	83	7.5%
⑥	経済的な負担の軽減	183	16.5%
⑦	金銭管理等の支援	41	3.7%
⑧	相談対応の充実	124	11.2%
⑨	地域住民等の理解	37	3.3%
⑩	コミュニケーションについての支援	74	6.7%
⑪	成年後見制度の利用促進	15	1.4%
⑫	その他	38	3.4%
⑬	無回答	182	16.4%
合計		1107	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
		グループホームの確保	住環境の確保 障害者に適した	適切に受けられること	在宅で医療的なケア等が 適切に利用できること	必要な住宅サービスが	経済的な負担の軽減	金銭管理等の支援	相談対応の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションに ついで支援	成年後見制度の利用促進	その他	無回答	合計
性別	男性	25	50	50	47	51	100	25	66	18	46	11	23	45	557
	女性	19	47	30	60	31	82	16	57	19	27	4	15	38	445
	無回答	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	6
年齢層別	0～6歳	0	4	1	0	7	2	0	4	1	0	0	1	1	21
	7～18歳	4	4	0	2	11	5	2	7	4	9	1	1	7	57
	19～39歳	18	23	4	13	19	25	13	26	9	17	8	10	9	194
	40～64歳	15	37	17	21	24	84	20	51	10	29	4	9	27	348
	65歳以上	5	28	56	65	19	56	5	31	8	14	1	14	37	339
	無回答	2	2	2	4	3	10	1	3	3	2	1	3	2	38
手帳別	身障手帳	15	41	63	73	26	76	12	40	9	19	4	16	40	434
	療育手帳	28	35	9	22	40	37	13	45	17	25	11	11	27	320
	精神手帳	13	30	10	15	23	75	20	49	12	31	2	15	15	310
	無回答	0	2	1	3	2	6	0	3	0	1	0	1	4	23



※円グラフの各項目（①～⑬）は、回答数の多い順に並んでいます。

4. 福祉サービス等の利用状況

障害福祉のサービスについてうかがいます。

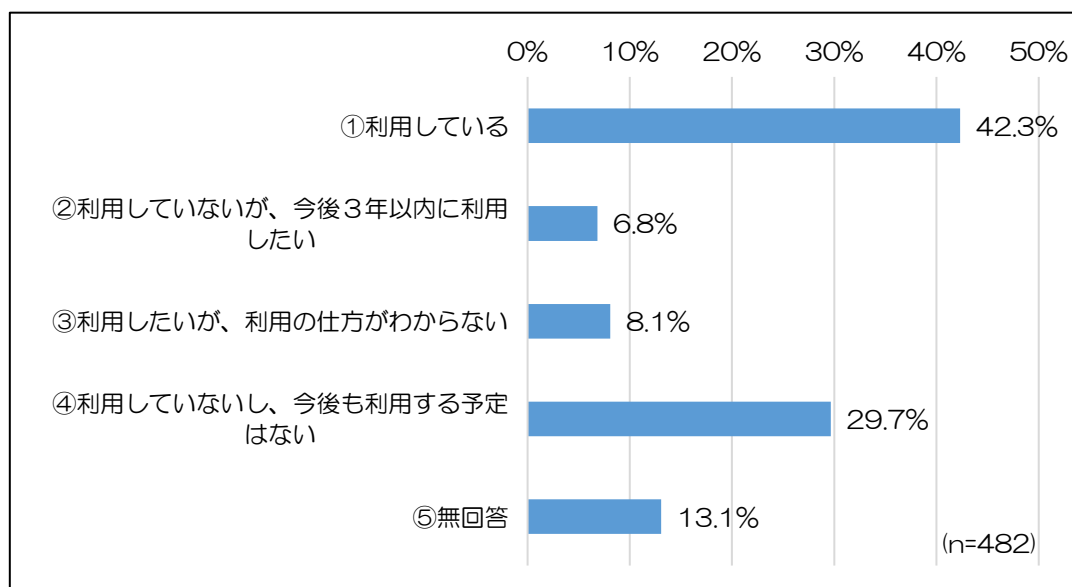
(1) 現在利用している障害福祉サービス等

問11 あて名ご本人は、現在、障害福祉サービス等を利用していますか。

「①利用している」が最も多く、次いで「④利用していないし、今後も利用する予定はない」でした。

(単位：人)

①	利用している	204	42.3%
②	利用していないが、今後3年以内に利用したい	33	6.8%
③	利用したいが、利用の仕方がわからない	39	8.1%
④	利用していないし、今後も利用する予定はない	143	29.7%
⑤	無回答	63	13.1%
アンケート回収数		482	100.0%



問12 あて名ご本人が、現在利用している障害福祉サービス等に〇をつけ、その満足度と利用量についてお答えください。また、今後3年以内に利用したい（利用し続けたい）サービスについても〇をつけてください。利用していない、今後も利用する予定のないサービスについてはお答えいただく必要はありません。

※障害福祉サービス受給者証をお持ちの方は、受給者証に記載されているサービス名をご参考にお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

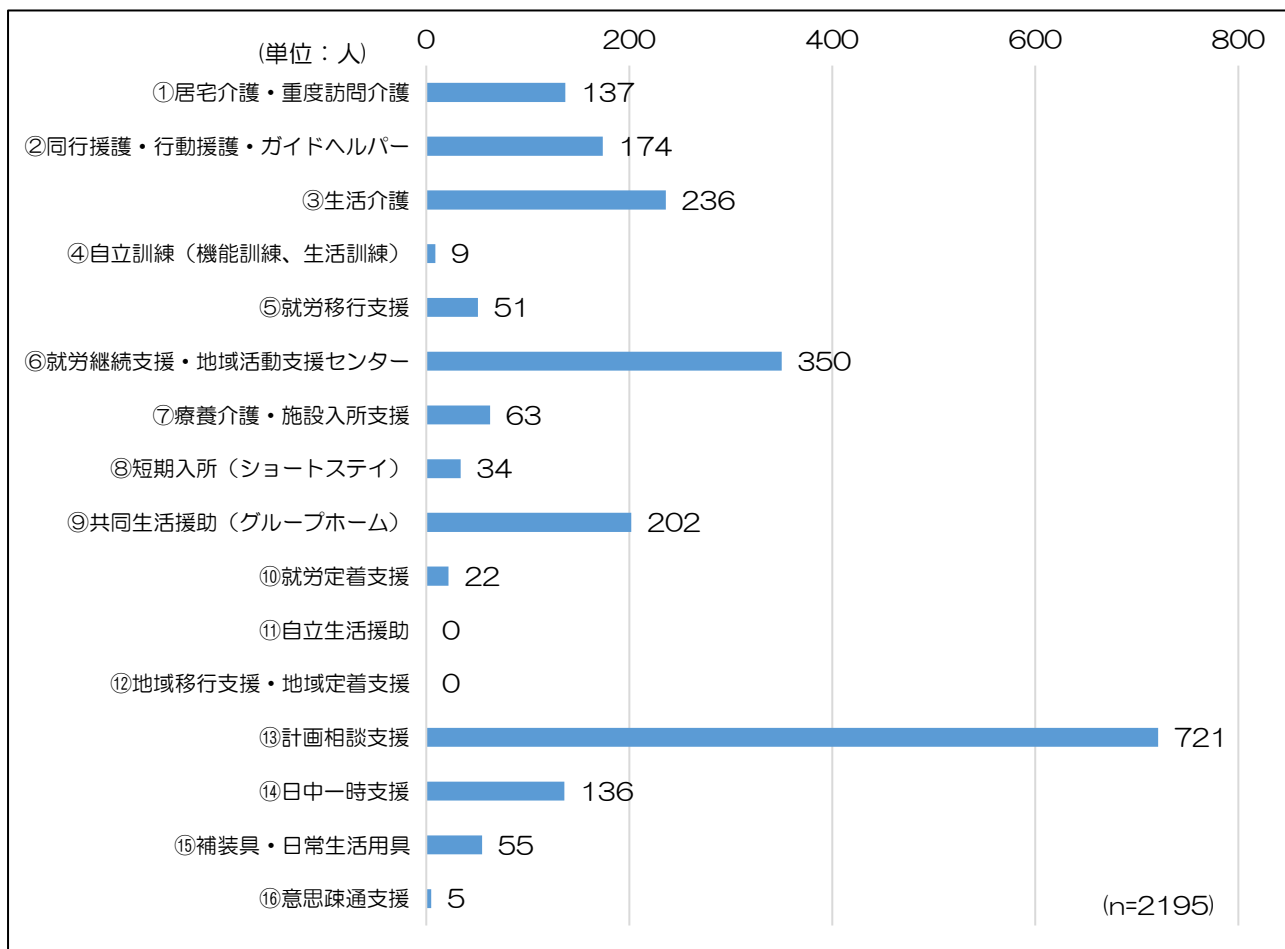
①現在利用している障害福祉サービス等※

※アンケート調査の結果ではなく、令和2年7月の利用実績です。

「⑬計画相談支援」が最も多く、次いで「⑥就労継続支援・地域活動支援センター」、「③生活介護」、「⑨共同生活援助（グループホーム）」、「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」でした。

（単位：人）

	サービス名	令和2年7月の利用実績	割合
①	居宅介護・重度訪問介護	137	6.2%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	174	7.9%
③	生活介護	236	10.8%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	9	0.4%
⑤	就労移行支援	51	2.3%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	350	15.9%
⑦	療養介護・施設入所支援	63	2.9%
⑧	短期入所（ショートステイ）	34	1.5%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	202	9.2%
⑩	就労定着支援	22	1.0%
⑪	自立生活援助	0	0.0%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	0	0.0%
⑬	計画相談支援	721	32.8%
⑭	日中一時支援	136	6.2%
⑮	補装具・日常生活用具	55	2.5%
⑯	意思疎通支援	5	0.2%
	合計	2195	100.0%



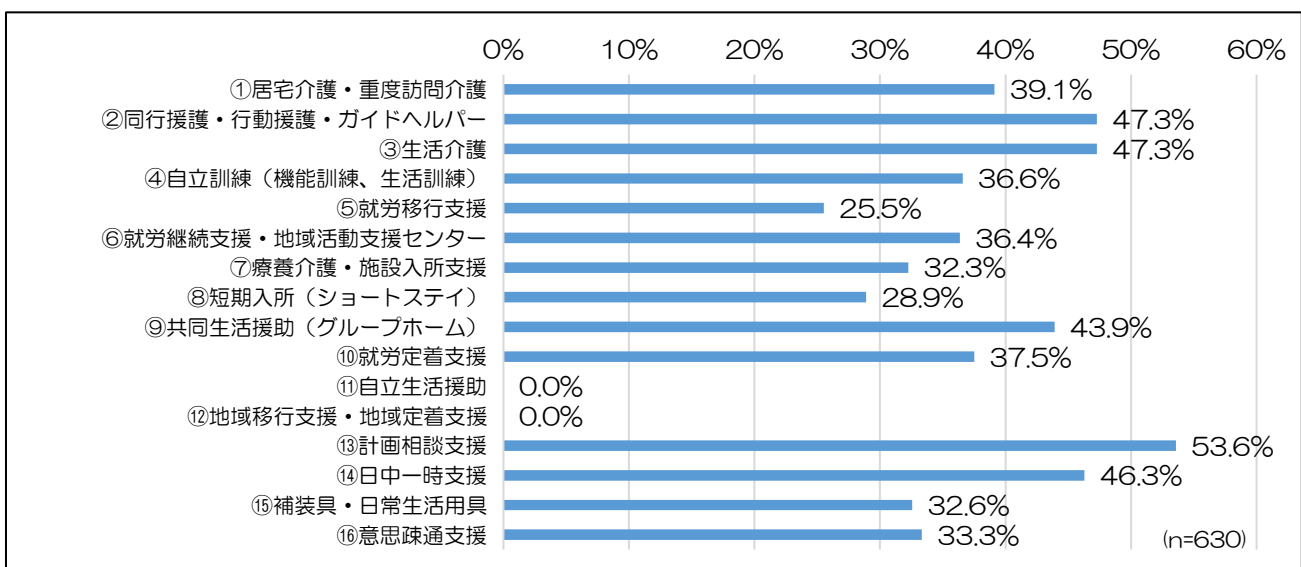
②満足度

合計について見ると、「⑬計画相談支援」が最も多く、次いで「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「③生活介護」、「⑭日中一時支援」、「⑤就労移行支援」でした。次に、「満足」と回答した方の割合について見ると、「満足」と回答した方の割合が最も高かったのは「⑬計画相談支援」、次いで「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「③生活介護」、「⑭日中一時支援」、「⑨共同生活援助（グループホーム）」でした。

満足度 ※満足度＝満足÷合計

(単位：人)

	サービス名	満足	普通	不満	無回答	合計	満足度※
①	居宅介護・重度訪問介護	9	11		3	23	39.1%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	26	20	8	1	55	47.3%
③	生活介護	26	24	3	2	55	47.3%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	15	25	1		41	36.6%
⑤	就労移行支援	12	25	6	4	47	25.5%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	16	23	4	1	44	36.4%
⑦	療養介護・施設入所支援	10	18	1	2	31	32.3%
⑧	短期入所（ショートステイ）	13	15	6	11	45	28.9%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	18	19	2	2	41	43.9%
⑩	就労定着支援	9	12		3	24	37.5%
⑪	自立生活援助	0	0	0	0	0	0%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	0	0	0	0	0	0%
⑬	計画相談支援	45	30	6	3	84	53.6%
⑭	日中一時支援	25	26	3		54	46.3%
⑮	補装具・日常生活用具	14	20	8	1	43	32.6%
⑯	意思疎通支援	4	8			12	33.3%
	合計	252	292	51	35	630	



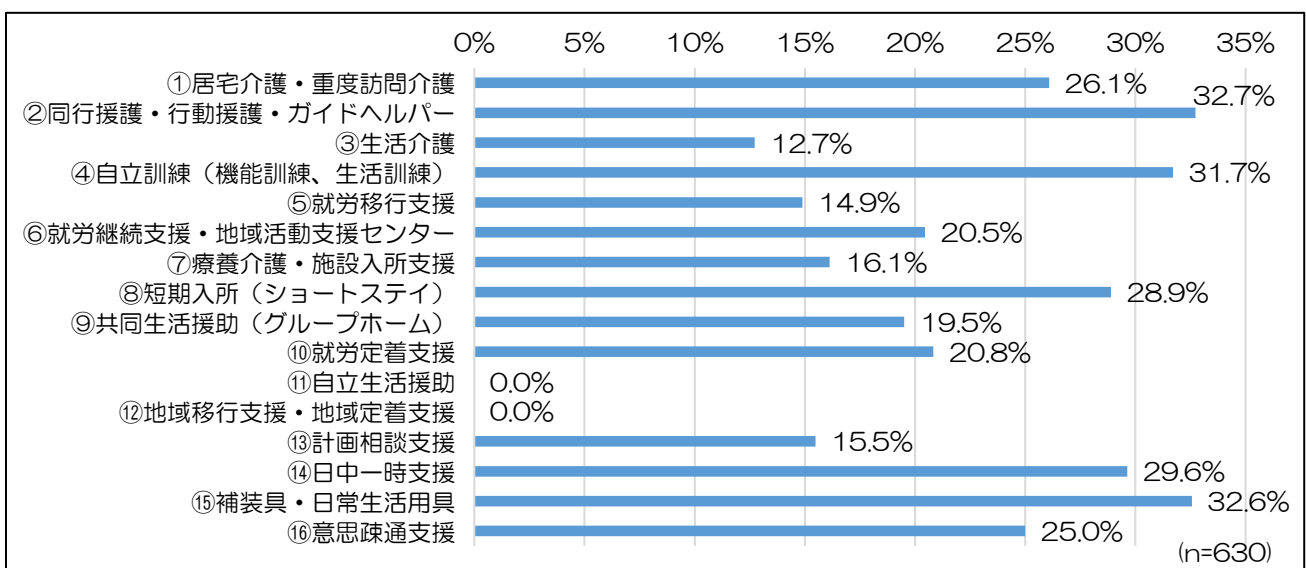
③利用量

回答数について見ると、「⑬計画相談支援」が最も多く、次いで「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「③生活介護」、「⑭日中一時支援」、「⑤就労移行支援」でした。一方、利用量を「増やしたい」と回答した方の割合について見ると、「増やしたい」と回答した方の割合が最も高かったのは「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、次いで「⑮補装具・日常生活用具」、「④自立訓練（機能訓練、生活訓練）」、「⑭日中一時支援」、「⑧短期入所（ショートステイ）」でした。

利用量 ※割合＝増やしたい÷合計

(単位：人)

	サービス名	増やしたい	今のまま	減らしたい	無回答	合計	割合※
①	居宅介護・重度訪問介護	6	13		4	23	26.1%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	18	32		5	55	32.7%
③	生活介護	7	41		7	55	12.7%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	13	22		6	41	31.7%
⑤	就労移行支援	7	30	1	9	47	14.9%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	9	26		9	44	20.5%
⑦	療養介護・施設入所支援	5	20		6	31	16.1%
⑧	短期入所（ショートステイ）	13	17		15	45	28.9%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	8	28		5	41	19.5%
⑩	就労定着支援	5	13		6	24	20.8%
⑪	自立生活援助	0	0	0	0	0	0%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	0	0	0	0	0	0%
⑬	計画相談支援	13	57	2	12	84	15.5%
⑭	日中一時支援	16	33		5	54	29.6%
⑮	補装具・日常生活用具	14	18		11	43	32.6%
⑯	意思疎通支援	3	7		2	12	25.0%
	合計	143	373	3	111	630	



④今後3年以内に利用したい（利用し続けたい）障害福祉サービス等

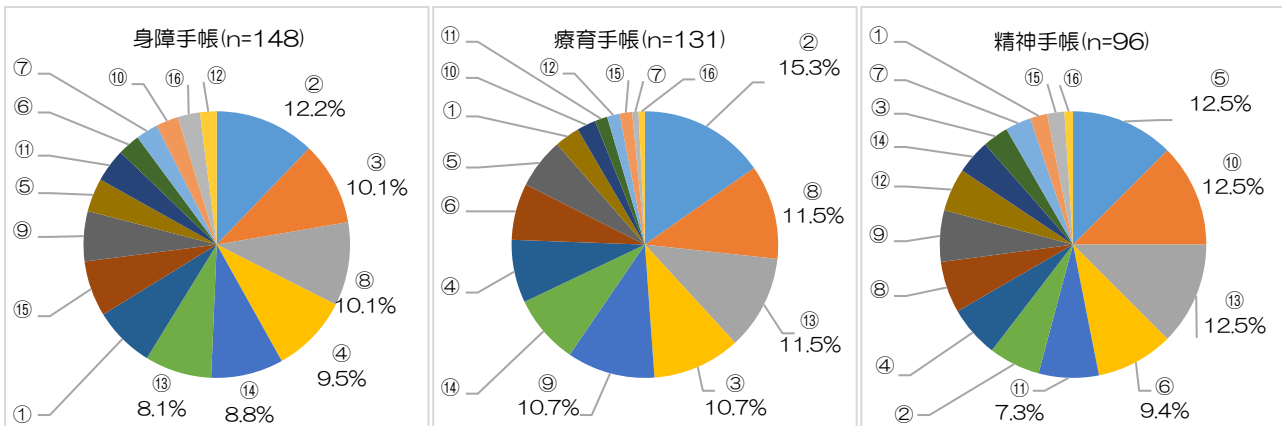
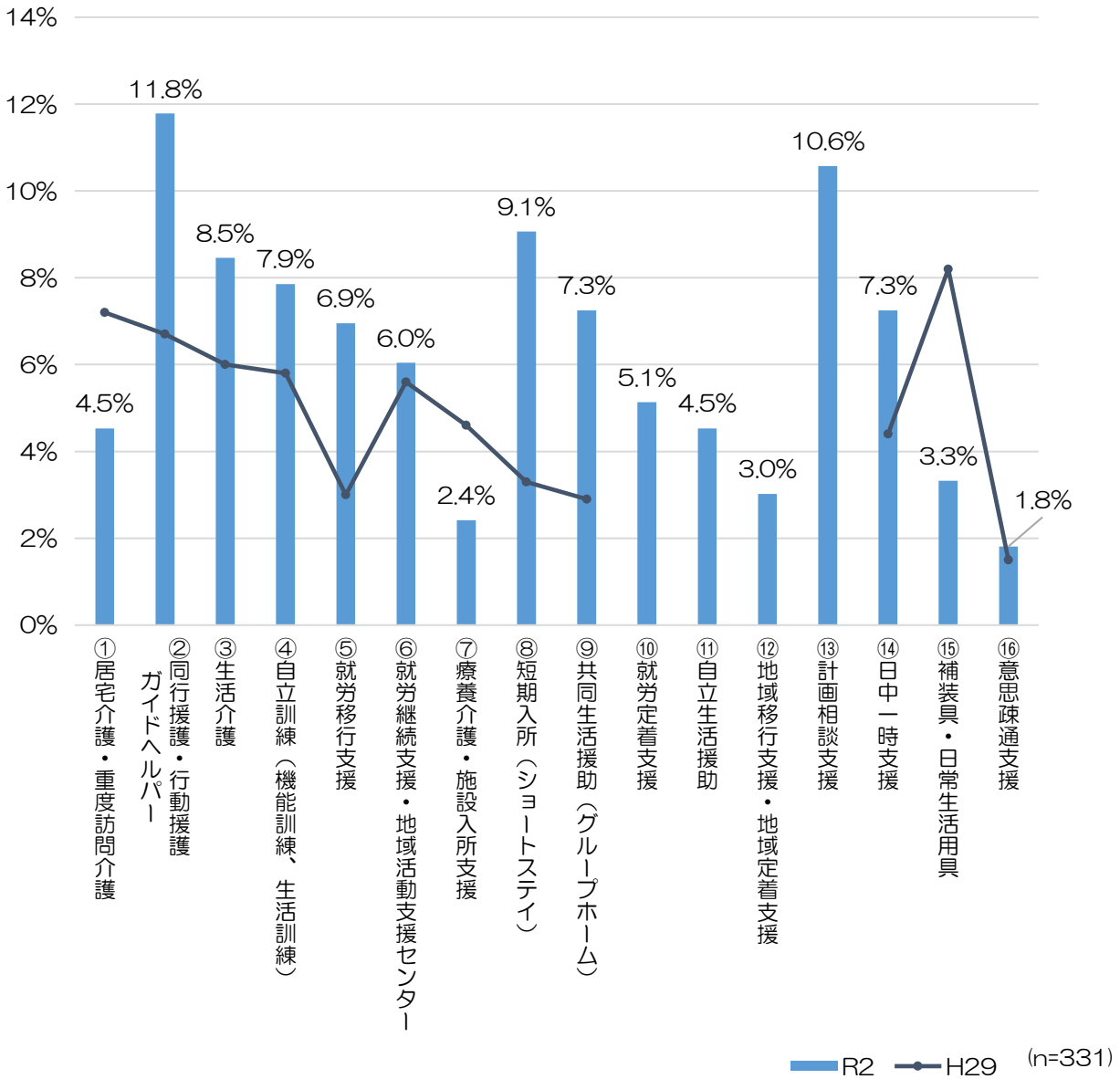
「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」が最も多く、次いで「⑬計画相談支援」、「⑧短期入所（ショートステイ）」、「③生活介護」、「④自立訓練（機能訓練、生活訓練）」でした。

今後3年以内に利用したい障害福祉サービス等

（単位：人）

	サービス名	回答数	割合
①	居宅介護・重度訪問介護	15	4.5%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	39	11.8%
③	生活介護	28	8.5%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	26	7.9%
⑤	就労移行支援	23	6.9%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	20	6.0%
⑦	療養介護・施設入所支援	8	2.4%
⑧	短期入所（ショートステイ）	30	9.1%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	24	7.3%
⑩	就労定着支援	17	5.1%
⑪	自立生活援助	15	4.5%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	10	3.0%
⑬	計画相談支援	35	10.6%
⑭	日中一時支援	24	7.3%
⑮	補装具・日常生活用具	11	3.3%
⑯	意思疎通支援	6	1.8%
	合計	331	100.0%

今後3年以内に利用したい（し続けたい）障害福祉サービス等



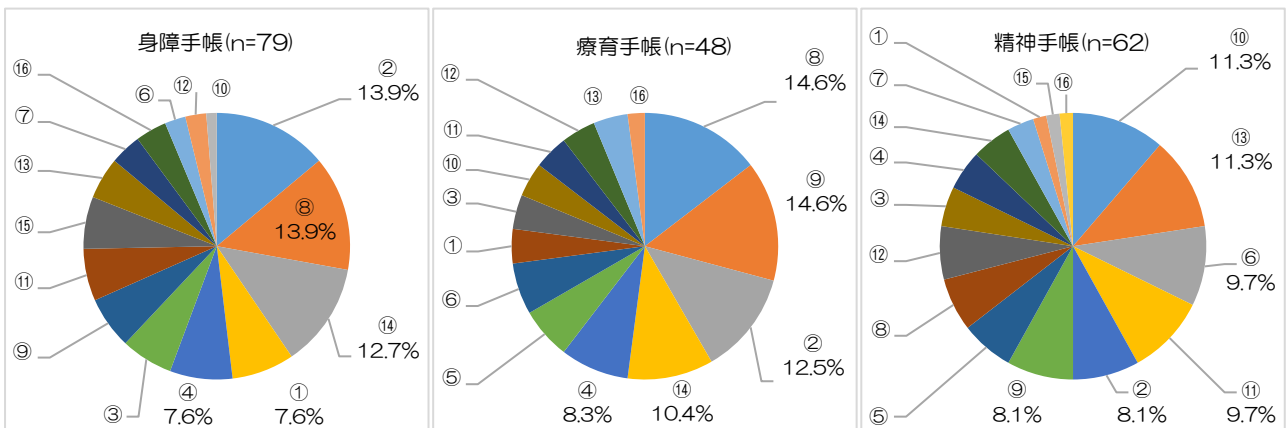
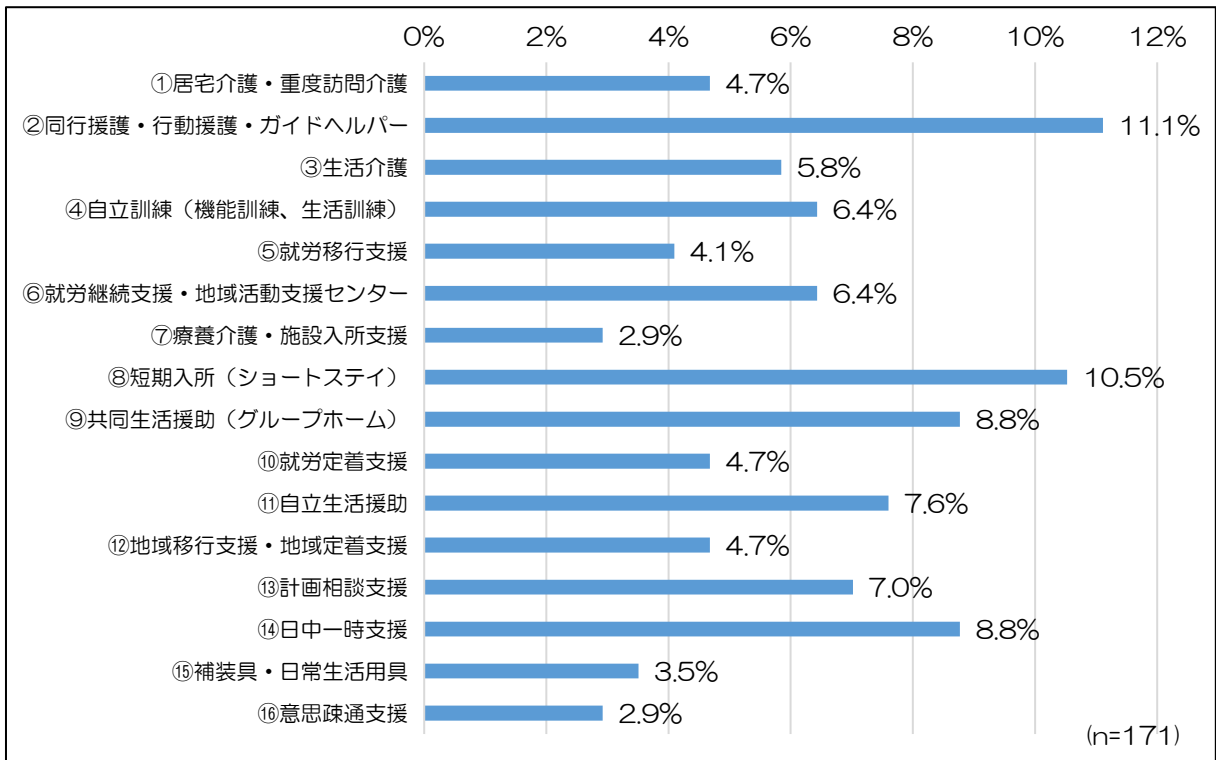
※円グラフの各項目（①～⑯）は、回答数の多い順に並んでいます。

⑤今後3年以内に利用したい障害福祉サービス等（新規利用）

「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」が最も多く、次いで「⑧短期入所（ショートステイ）」、「⑨共同生活援助（グループホーム）」、「⑭日中一時支援」、「⑪自立生活援助」でした。

（単位：人）

	サービス名	回答数	割合
①	居宅介護・重度訪問介護	8	4.7%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	19	11.1%
③	生活介護	10	5.8%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	11	6.4%
⑤	就労移行支援	7	4.1%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	11	6.4%
⑦	療養介護・施設入所支援	5	2.9%
⑧	短期入所（ショートステイ）	18	10.5%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	15	8.8%
⑩	就労定着支援	8	4.7%
⑪	自立生活援助	13	7.6%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	8	4.7%
⑬	計画相談支援	12	7.0%
⑭	日中一時支援	15	8.8%
⑮	補装具・日常生活用具	6	3.5%
⑯	意思疎通支援	5	2.9%
	合計	171	100.0%



※円グラフの各項目（①～⑯）は、回答数の多い順に並んでいます。

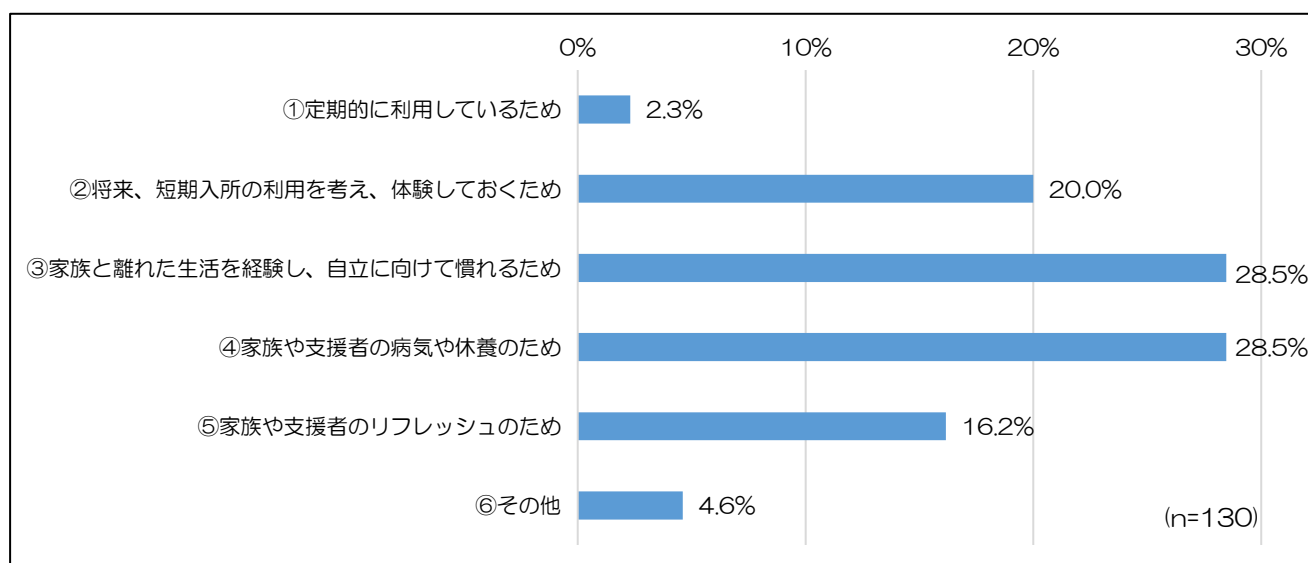
(2) 短期入所（ショートステイ）の利用について

問13 問12で「短期入所（ショートステイ）」を「利用している」、または「今後3年以内に利用したい」を回答した方におうかがいします。利用した目的、もしくは、今後利用したいと思う目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「③家族と離れた生活を経験し、自立に向けて慣れるため」、「④家族や支援者の病気や休養のため」が最も多く、次いで「②将来、短期入所の利用を考え、体験しておくため」でした。

(単位：人)

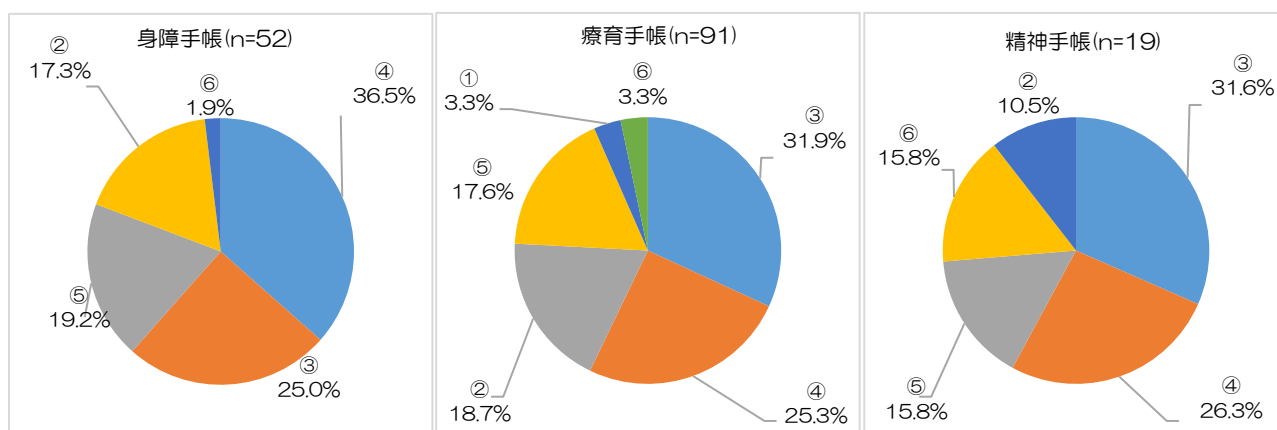
①	定期的にご利用しているため	3	2.3%
②	将来、短期入所の利用を考え、体験しておくため	26	20.0%
③	家族と離れた生活を経験し、自立に向けて慣れるため	37	28.5%
④	家族や支援者の病気や休養のため	37	28.5%
⑤	家族や支援者のリフレッシュのため	21	16.2%
⑥	その他	6	4.6%
合計		130	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	合計
		定期的に利用しているため	将来短期入所の利用を考えたため	家族と離れた生活を経験し自立に向けて慣れるため	家族や支援者の病気や休養のため	家族や支援者のリフレッシュのため	その他	
性別	男性	3	17	26	24	13	3	86
	女性	0	8	9	12	7	3	39
	無回答	0	1	2	1	1	0	5
年齢層別	0～6歳	0	1	0	1	2	2	6
	7～18歳	0	4	9	5	4	0	22
	19～39歳	2	12	19	14	10	0	57
	40～64歳	0	2	3	3	0	2	10
	65歳以上	0	5	4	12	4	2	27
	無回答	1	2	2	2	1	0	8
	手帳別	身障手帳	0	9	13	19	10	1
療育手帳	3	17	29	23	16	3	91	
精神手帳	0	2	6	5	3	3	19	
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1



※円グラフの各項目(①~⑥)は、回答数の多い順に並んでいます。

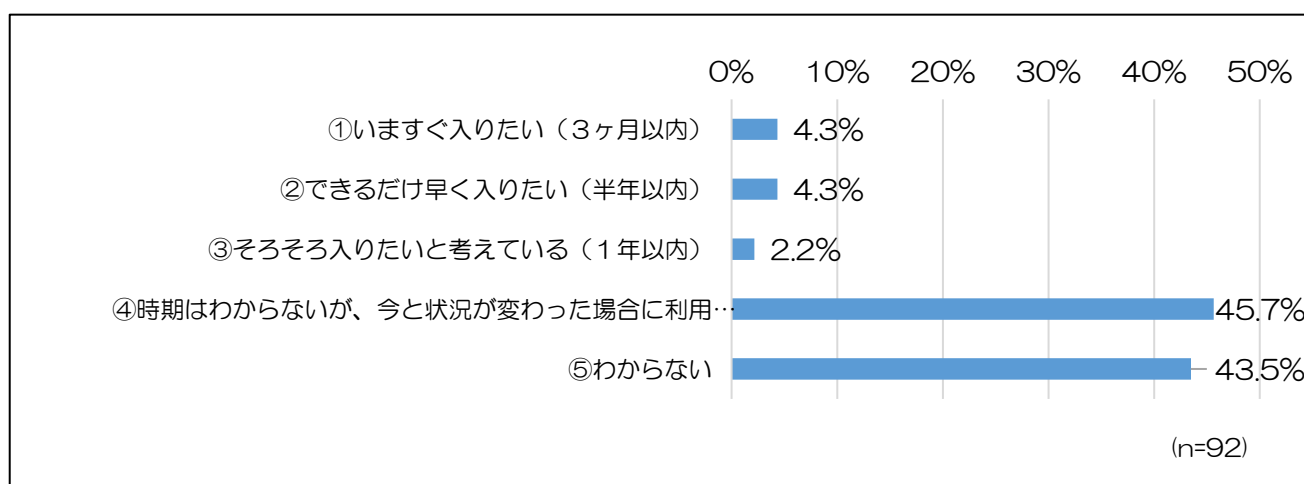
(3) 共同生活援助（グループホーム）の利用について

問14 問8で「④障害者向けのグループホームで暮らしたい」及び、問12で「⑨共同生活援助（グループホーム）」を「今後3年以内に利用したい」を回答した方におうかがいします。いつごろの利用を考えていますか。（あてはまるもの1つに○）

「④時期はわからないが、今と状況が変わった場合に利用したい」が最も多く、次いで「⑤わからない」、「①いますぐ入りたい（3ヶ月以内）」、「②できるだけ早く入りたい（半年以内）」でした。

(単位：人)

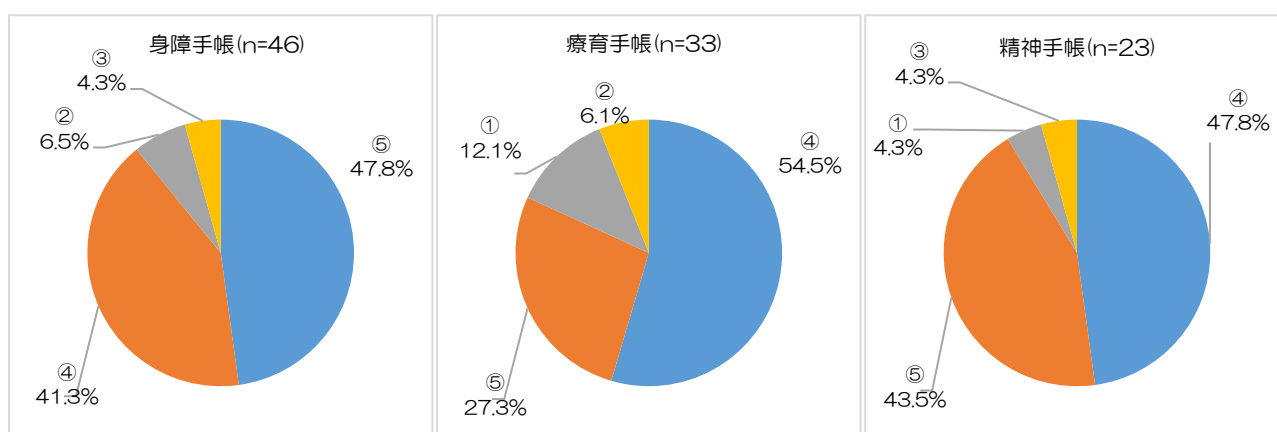
①	いますぐ入りたい（3ヶ月以内）	4	4.3%
②	できるだけ早く入りたい（半年以内）	4	4.3%
③	そろそろ入りたいと考えている（1年以内）	2	2.2%
④	時期はわからないが、今と状況が変わった場合に利用したい	42	45.7%
⑤	わからない	40	43.5%
合計		92	100.0%



○性別・年齢層別・障害別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	合計
		いますぐ入りたい (3ヶ月以内)	できるだけ早く入りたい (半年以内)	そろそろ入りたいと考えてい る(1年以内)	時期はわからないが今と状況 が変わった場合に利用したい	わからない	
性別	男性	0	4	0	29	17	50
	女性	4	0	2	12	23	41
	無回答	0	0	0	1	0	1
年齢層別	0～6歳	0	0	0	1	0	1
	7～18歳	0	0	0	4	2	6
	19～39歳	3	4	0	12	2	21
	40～64歳	1	0	1	7	16	25
	65歳以上	0	0	1	17	18	36
	無回答	0	0	0	1	2	3
手帳別	身障手帳	0	3	2	19	22	46
	療育手帳	4	2	0	18	9	33
	精神手帳	1	0	1	11	10	23
	無回答	0	0	0	0	2	2



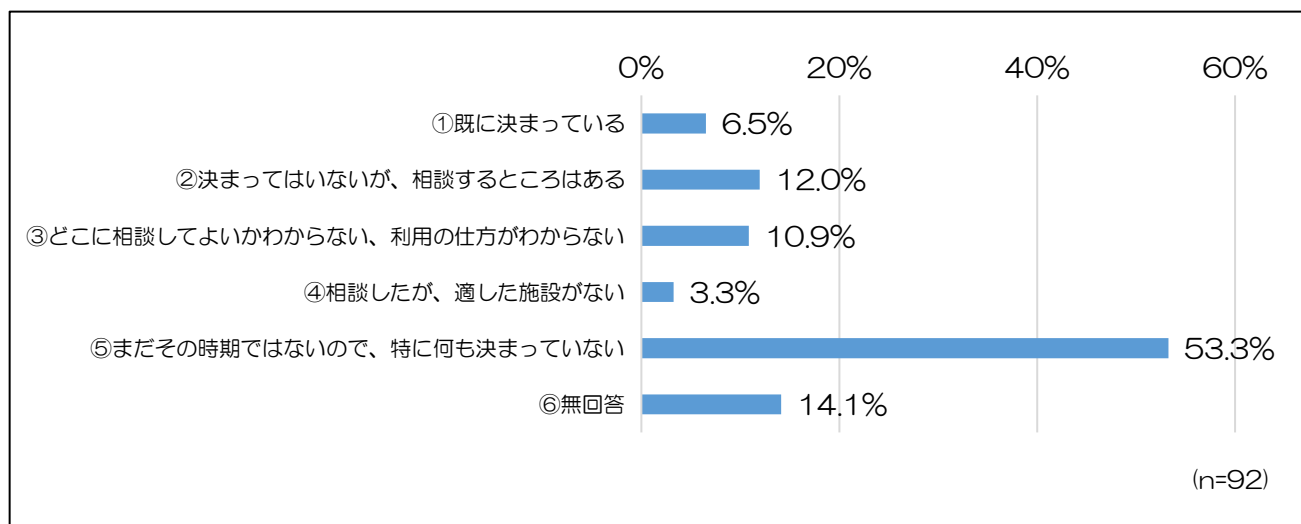
※円グラフの各項目(①～⑤)は、回答数の多い順に並んでいます。

問15 問14に回答した方におうかがいします。利用するグループホーム、または事業所は決まっていますか。（あてはまるもの1つに○）

「⑤まだその時期ではないので、特に何も決まっていない」が最も多く、次いで「⑥無回答」、「②決まってはいるが、相談するところはある」、「③どこに相談してよいかわからない、利用の仕方がわからない」でした。

(単位：人)

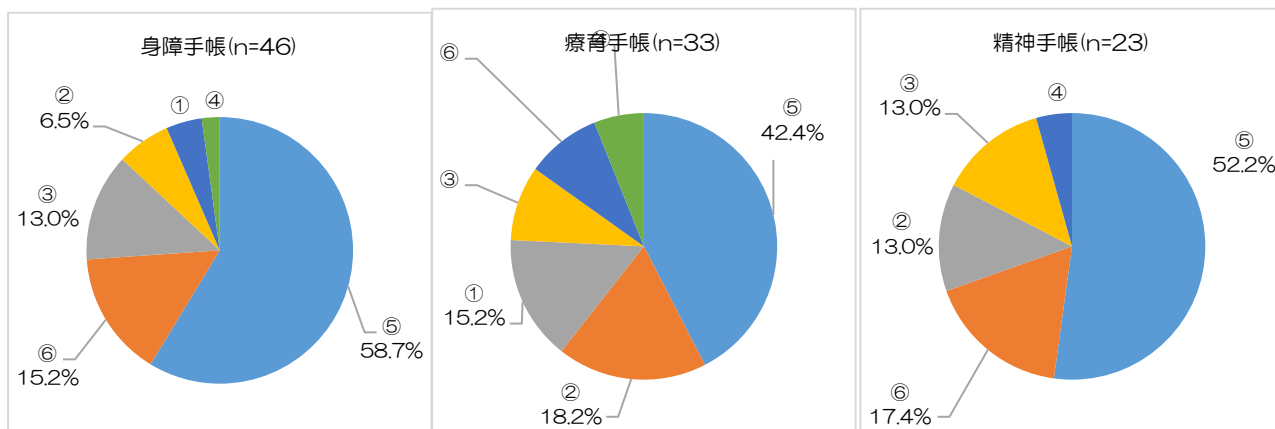
①	既に決まっている	6	6.5%
②	決まってはいるが、相談するところはある	11	12.0%
③	どこに相談してよいかわからない、利用の仕方がわからない	10	10.9%
④	相談したが、適した施設がない	3	3.3%
⑤	まだその時期ではないので、特に何も決まっていない	49	53.3%
⑥	無回答	13	14.1%
合計		92	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	合計
		既に決まっている	決まっていないが相談する つもりはある	利用の仕方がわからない よいに相談してよいか わからない	相談したが 適した施設がない	まだその時期ではないので 特に何も決まっていない	無回答	
性別	男性	2	7	3	3	29	6	50
	女性	4	4	7	0	19	7	41
	無回答	0	0	0	0	1	0	1
年齢層別	0～6歳	0	1	0	0	0	0	1
	7～18歳	0	0	2	0	4	0	6
	19～39歳	4	6	1	1	6	3	21
	40～64歳	2	2	4	1	11	5	25
	65歳以上	0	2	3	0	26	5	36
	無回答	0	0	0	1	2	0	3
手帳別	身障手帳	2	3	6	1	27	7	46
	療育手帳	5	6	3	2	14	3	33
	精神手帳	0	3	3	1	12	4	23
	無回答	0	0	0	0	1	1	2



※円グラフの各項目（①～⑥）は、回答数の多い順に並んでいます。

5. 我孫子市の障害者支援の取り組みについて

我孫子市の障害者支援の取り組みについて、その満足度をおたずねします。
(1から15のそれぞれあてはまるもの1つに○)

(単位：人)

	満足	普通	充実してほしい	わからない	無回答
① 障害者への理解の促進のための事業	36	118	90	88	119
② 障害者の交流の場・機会づくり	14	92	81	136	127
③ ライフステージに応じた切れ目のない相談支援体制	30	93	102	99	126
④ 地域の施設や事業所との連携	36	94	88	101	129
⑤ 障害者の権利擁護に関する事業	21	83	91	119	155
⑥ 地域で安心して暮らすための障害福祉サービス等	25	84	137	86	117
⑦ コミュニケーション支援に関する事業	13	77	100	131	128
⑧ わかりやすい情報提供	19	85	152	68	124
⑨ 地域で生活するための住まいの場の整備 (グループホームの整備)	14	59	110	138	128
⑩ 日中活動を安心して行える場所の整備	22	83	116	102	128
⑪ 保健・医療支援に関する事業	44	94	119	70	122
⑫ 福祉サービス事業者を支援する事業	16	80	107	124	122
⑬ 障害者の就労・社会参加に関する事業	14	72	121	119	122
⑭ バリアフリーのまちづくり	12	83	147	87	121
⑮ 緊急時・災害時の支援	11	70	163	92	115

6. その他障害福祉についてのご意見

その他障害福祉について、困っていることやご意見等がありましたらお聞かせください。

○サービス・助成制度について

- 将来的にグループホーム入所を希望、充実してほしい。
- 利用している住み慣れた障害者向けグループホームで、認知症や寝たきりになっても、身体介護が受けられ最後の見取りまでかかわっていただける制度にしていきたい。
- 一人暮らしでも安心できるサポートをしてほしい。一人暮らしが出来なかった場合はグループホームを検討している。
- グループホームの整備を更にお願ひします。
- グループホームが少ない。将来が心配。
- 重度の場合なかなかグループホームに受け入れてもらえない。入所施設には入れたくない。
- 平日の日中の過ごし方として、貸家などにも障害に応じた物件などがあるといい。騒音での苦情や、窓、扉への施錠の増設（家からの飛び出し）などで困っています。身体だけでなく、知的障害をもつ方にも住宅改修などの助成金の支援がほしいです。
- 精神障害者が安心して住める施設を作ってください。他の施設では受け入れてもらえない。
- ショートステイの利用がしにくい。
- ショートステイが増えるとありがたい。
- 重度知的障害の子供に対応できる入所施設の充実をお願いします。
- 重症心身障害児が安心して利用できる施設を市内に作ってほしい。
- ワンメーターではなく送迎に要した分に関して無料にしてほしい。
- ガイドヘルパーをもっと充実してほしい。
- 夜間の見守りが必要。ヘルパーの手当を上げてガイドヘルパー・ヘルパーを増やしてほしい。
- 5歳の子供が補聴器を使用している。中等度難聴のため修理費助成が無い。修理費メンテナンスの補助をお願いしたい。
- 補聴器、集音器など購入した後に不満が残る。補装具、補助用具の相談や試用試聴のできる先の情報がほしいと思う。
- 「音声文字変換」の携帯アプリが便利。携帯アプリを活用して会話できることが、もっと周知されたらうれしい。聴覚障害者にみな親切。
- コミュニケーション支援の存在を知らなかったので、今後利用したい。
- もっと日中一時支援施設に選択肢があればいい。事業所が少ない。
- いつも丁寧な対応感謝しています。日中一時支援対応の事業所が少なく利用できない時がある。もう少し日中一時支援を利用しやすくなると安心。
- 成年後見制度は契約や金銭管理等で活用できますが日常の生活用品やおやつ等の買い物、話し相手等の仕組みは別です。親や兄弟も高齢となり、関われなくなった時が心配。日常生活支援サービスの充実をお願いします。
- 親亡き後の支援体制を充実してほしい。
- 今後も障害者家族が心身ともに負担にならない充実した支援体制を願っている。
- 移動支援の確保ができない。母の負担が大きい。
- 障害者になったときは、家族も気を使ってくれるが、時がたつと面倒、逃げ腰、見て見ぬふり。がまんも必要かと思うが。できるだけ自立できる方法があればと願っています。

- OT,PT,ST を受けられる施設が少ない。
- 障害福祉サービスは、理解することがなかなかできない。複雑になっているのかどうかも分からない。介護保険のように明確になっていると良いし、コーディネイトする人がしぼられると良いのでは。以前障害サービスを利用していたが、誰に何を相談したらよいか分からなかった。
- 障害福祉サービスと介護保険との関係がわからない。
- 障害者専門の病院ができるといい。診察の待ち時間等普通の人ができることができないため。
- 医療の充実を民間と協力して実施してほしい。知識の多い精神科医が少ない。
- 医療介助が必要な子の事務所（看護師常駐）や OG,OB を勉強できるセミナーがあるといい。どこを利用できる等、詳しい基準がわからない。
- 精神障害者福祉手帳 3 級の支援が足りません。3 級となると実質障害年金が受給できない為、仕事をしていても自立ができません。3 級の年金額を 2 ヶ月に一度 6~8 万円受給できると生活できると思われま。
- 高次脳機能障害だと断る施設、相談員が多い。相談員の数少なく、なかなか決まらない。
- 施設の利用者にしわ寄せが生じないよう配慮してほしい。認定調査の設問を精神障害の判定に適したものに改善してほしい、現状の項目はとても問題がある。
- 体調が悪くなった時、支援してくれる方がいていただけるとよい。
- 地域の相談員が来たことがありません。困ることたくさんあります。病院以外へ行く以外、外出もしません。家で寝ています。タクシーを使わないと病院など、どこへも行けません。

○行政への意見

- 災害時など屋外の歩行が困難なため避難所へすぐ行けるか心配。
- 大雨や地震や台風・大雨などによる災害時の避難場所についてお願いがあります。災害時には、普段と違う状況の中、一段とパニックになったり大きな声を出してしまったりと周りの人に迷惑をかけてしまうケースが多々あると思います。色々な事を考えてしまうと避難場所に行くのもちゅうちょしてしまう家庭があるかと思うので障害者とその家族が回りを気にする事なくいられる場所を作って頂けたらと願います。同じ場所でも仕切りを作って頂いたり部屋等分けたりして・・・いざという時に備えて、今から検討して頂けたらありがたいです。よろしくお願いします。
- 自然災害時安心できる場所を確保・整備してほしい。
- 役所に知的障害者の雇用があるのか？あるならもっと積極的に。なければ前向きに。
- 企業の障害理解が低く困っている。我孫子の福祉支援には大変感謝している。これからもよろしくお願いします。
- 障害者が参加できる活動の機会があるといい。パラ競技の回数を増やしてほしい。
- 障害福祉支援課にメールでも問い合わせできるようにしてほしいです。
- 本人の生活については、日中・生活（グループホーム）ともに恵まれていて幸せに生活できており、感謝している。しかし、事業所の自助努力が大きく助成を充実させてほしい。幼児から成人までの切れ目のない支援（特に教育）をお願いする。
- 長期にわたる障害者助成を感謝します。ありがとうございます。
- 市の収入が少ないのに頑張っている感じがする。自分の障害は軽度なため普通に過ごせている。
- 障害福祉支援課の皆さんには大変感謝している。相談は、親切に対応していただきありがとうございます。

○インフラ整備関係

- クリーンセンターの焼却熱を利用して、プール、風呂があるとリハビリもでき、健康にも良いと思います。経済的にも身体的にも自立できるような施策を願う。
- 市内の歩道は幅が狭く段差が多く要注意。歩道の段差をなくしてほしい。道路端の歩行者用の白線をはっきり引いて欲しい。
- 市内には補装具の会社も少ないことは不満。
- 我孫子駅ホームへのエレベーター設置を要望してほしい。
- バスの乗り降りがきつい。アビバスのマイクロバス型は優先席もなく乗降しにくい。低床型バスを必須化してほしい。電子カード使えず小銭必須で不便。
- 学校が新木にあります。新木駅から学校まで徒歩 20 分、アビバスを増やしてほしい。
- 市内バスの補助金が出ると助かる。我孫子から柏へ通院用の送迎車があると良い。
- 精神障害者は電車の運賃割引がない。働けなくなり収入がなくなったらとても困る。
- 小銭取り扱い不自由なためキャッシュレス推進してほしい。市役所自体がカード使えない。
- 年金収入の少ない私には入所や介護を受けることはできない。病院の車も回ってこないから不便している。
- 足や膝が悪く、団地に手すりを付けたいが年齢に達していないため付けられず、いつもつまずく。
- 情報提供を積極的にしてほしい。障害にあったサービスの情報が欲しい。新しく始まったサービス等については特に情報を提供して頂きたい。
- テレワークが可能な障害者雇用があるとよい。
- 発達障害ですが、障害者雇用ではなく、通常の方と同じ正社員で働いています。会社には障害の話をしてはいますが、やはり障害者雇用ではないので、他の社員と同等の負担を掛けられながら仕事をしている状況です。（仕事内容やコミュニケーションの悩みなど）もっと今以上に発達障害への理解が深まれば良いと思います。（目に見える障害ではない為）
- 障害者への違和感がなくなるよう、保育園や小中との交流の場がほしい。相模原の事件は悲しい。
- 心のバリアフリー。まだ冷たさを感じる。
- 透析している人が差別を受けることがあるらしいので、偏見がない世の中にしてほしい。
- 介護関係のセンターがあるといい。

○将来への不安

- 障害を持つ親としてアンケートはありがたい。親は老いて、息子とも「近い将来別れが来ます。今の時代兄弟の世話にはなれません、住居は話せる同じような方の住んでいるグループホームと考えます。その時はグループホームに入れられないことのないようにお願いします。
- 近隣にグループホームができる話を聞き、心強いです。「親亡き後」が気がかりです。今後ともご支援お願いします。
- 親の死後が不安。何らかの準備や活動について支援して欲しい。仲間づくりやきっかけがほしい。
- 小学校 1 年生の子供の福祉サービス・相談先が分かりません。今後のことを考えると、利用したい。親の会はあるのでしょうか。

- 兄も障害者。私が死んだら兄の面倒を見れなくなるのが心配。
- 本人が入院中であり、支援者の姉・義兄共高齢者のため手続き（市役所・県・年金機構等）をどうすべきか心配。
- 両親が亡くなった後、どうしたらよいかわからない（住む所やお金）
- すべて自分ができるうちはいいが先のことが心配。考えると夜眠れなくなる。
- 60～70歳になった時生活がどうなるのか、今のアパートに住んでいられるのか考えてしまう。
- ご配慮を感謝しています。高齢夫婦二人の生活のため今後が心配です。高齢なので家の問題があり困っています。支援課さんの存在心強いです。
- ひとり暮らしで将来自分で行動できなくなったら、自分の家はどうなってしまうのか心配。ケアマネさんが色々考えてくれる。一番心配なのは自分が倒れた時。
- 現在は自立して生活しているので支援の取り組みについてわかりません。ひとり暮らしなので心臓発作を起こすのではと不安。市が取り組んでいる事業について関心を寄せていきたい。
- 日常生活は十分に注意し生活しているが、今後歩行などに問題が起きた時が不安。
- 障害者の時給は10分の1～5分の1、生んでしまった親の責任を感じるとともに子どもの将来が心配。将来をお願いできる事業所があれば、と願う。
- 卒業後の進路が不安。あらかぎ園だけでなく近隣の市の施設を利用できるように調整して欲しい。
- 支援学校に通っているが、仮に障害枠で就労したとしても長く勤められず、その後の就労支援が無く障害者は苦勞すると聞く。親がいるうちは良いが、頼る人もいなくて自立できなかったらと将来の不安が付きまとう。
- ハローワークに障害者枠で仕事を探しているが見つからない。見つかるまでA型事業所はどうかと言われるが、生活する十分な給料が入らない。障害者年金は却下され生活に不安がある。
- 三密自粛以来、夫婦ともに歩行困難が進行し健康に自信がなくなりました。これまで他人様に迷惑をかけないことを信条とし、福祉制度の研究も疎かにしており、これからの3年間に不安を感じております。いざとなったときの対処方法をご教示頂ければ幸いです。
- 緊急時（コロナ）で国中が危なく、会社もなくなり、無収入になりました。このままではホームレスになってしまいそうです。
- 障害者年金が支給されないので、将来が不安。
- コミュニケーションや書類のまとめを書く事が苦手。デイケアなど行動するとお金がかかる。お金がないと訓練続けられるか心配。
- 介護保険について、今後お世話になる過程を考慮し、どのような手続・認定を受けると利用や活用ができるのか要領を得ないので、その現状を知りたい。又情報が取得できる環境があればいい（ほしい）。
- 精神疾患の中でも解離性障害はとても理解されにくく、見た目は普通なのでどこが悪いのか疑われることが多い。今年に入りめまいの病気も発生してしまっただが、このめまいも本人は症状が出ていても他からわからないようで、高齢者の方からエレベーターを利用したり、病院でもつらく座っているととても視線を感じます。つらくてもやはり席をゆずり我慢します。明らかに目に見えない障害はこれからも我慢しないといけないのか？
- 金銭管理が不得意で、押し売りやネット直販に騙されやすい。
- 身体が悪いので畑でリハビリしている。電話がないから何かあったら死ぬしかない。

- 気にかけて仕事をして頂き感謝します。これ以上悪化しないよう生活していきます。
- その時々で支援の必要性が変わる。柔軟な支援だと助かる。

○当アンケートについて

- アンケートの項目がわかりにくかった。アンケートは選択しにくかった。